



■ コンセプトを実現するためのテーマ及び整備方針

I 子どもたちが居心地よく、多様な学びを育む学習環境

整ったCR(普通教室)で落ち着いて学習

- 適度な教室室面積と十分な収納スペースにより教室環境が整い、児童が落ち着いて学習に専念できる環境をつくります。

多様な学習形態や集団による活動が可能となる学習環境

- 学年集会が行える広さの多目的ルームを適切に設け、複数のクラスでフロアを伸びやかに使える計画とします。
- 多目的ルームや少人数教室により、総合的な学習や調べ学習、習熟度別学習など多様なスタイルで学習が行える環境を整備します。

全ての児童が自分の居場所を見つけられる学校

- 特別支援学級、国際教室、フリールーム(校内教育支援教室)、リソースルームなど様々な教育的ニーズに沿った指導が機能的に行えるような教室配置や室内環境を整備します。

II 安心して楽しく学び、のびのびと活動できる魅力ある学校

憩いの空間づくり

- CRや多目的ルーム近くにDENを設け、児童が自然と集まり憩える空間を創出します。集まる児童の幅広い交流により社会性や人間性の育成にも働きかける計画とします。
- 吹抜けのあるDENは開放的で、上下階の連続性を創出するとともに、自然採光や通風を取り入れることで、光や風の流れる安全衛生的な環境をつくります。

図書・メディアセンターを中心とした学習環境づくり

- 図書・メディアセンターをみんなが利用しやすい学校の中心に魅力的な空間として計画し、より一層の活用を図ります。
- 調べ学習や放課後学習などに積極的に活用でき、図書室が身近になることで児童の自発的な学習や読書活動を促します。

III 地域とつながり、連携・協働しながら未来を育てる学校

地域みんなで子どもを守る地域に開いた安全な学校づくり

- 家庭・地域・学校のつながりを一層深め、地域と学校の一体的推進を図り、地域全体で未来を担う子どもの健全育成を図るため、地域連携施設を整備します。

IV 地域防災とコミュニティを守る、安心・安全な拠点となる施設

防災拠点としての役割

- 東棟の1階に防災備蓄倉庫を設けるなど防災機能を向上させ、災害時における地域住民の避難場所としての役割を果たす計画とします。

地域に必要とされる学校

- 地域コミュニティの場として地域連携施設が使用しやすいよう、夜間や休日などの利用も想定し、学校とのセキュリティを考慮し整備します。

1-(2)計画概要・現況写真

■ 敷地概要

住居表示	神奈川県厚木市下依知2丁目7-1
地名地番	神奈川県厚木市下依知2丁目1195-1ほか1筆
敷地面積	21,160.59m ²
都市計画区域	市街化区域
用途地域	第二種中高層住居専用地域
前面道路	42条1項1号 北側・西側市道:8m
建ぺい率	60%+10%(角地緩和)
容積率	200%
防火地域	準防火地域
斜線制限	道路斜線1.25/1、隣地斜線1.25/1 H=20m
日影制限	高さ10m超:4時間-2.5時間-4m

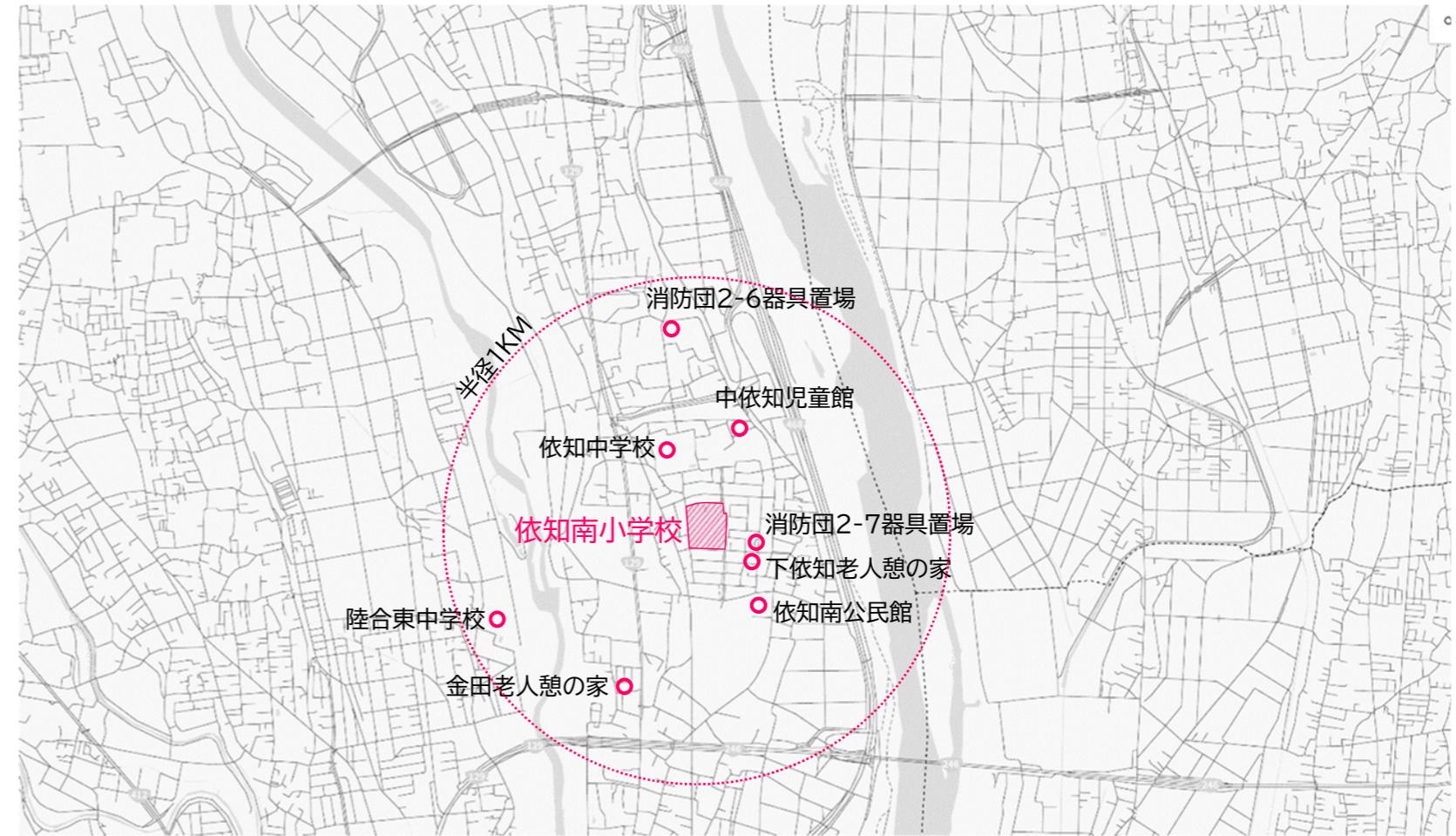
■ 施設概要(今回計画建物)

施設用途	小学校	建築面積	1,735.63m ²
階数	地上3階	延床面積	4,633.29m ²
構造	鉄筋コンクリート造	最高高さ	13.25m
耐火種別	耐火建築物		

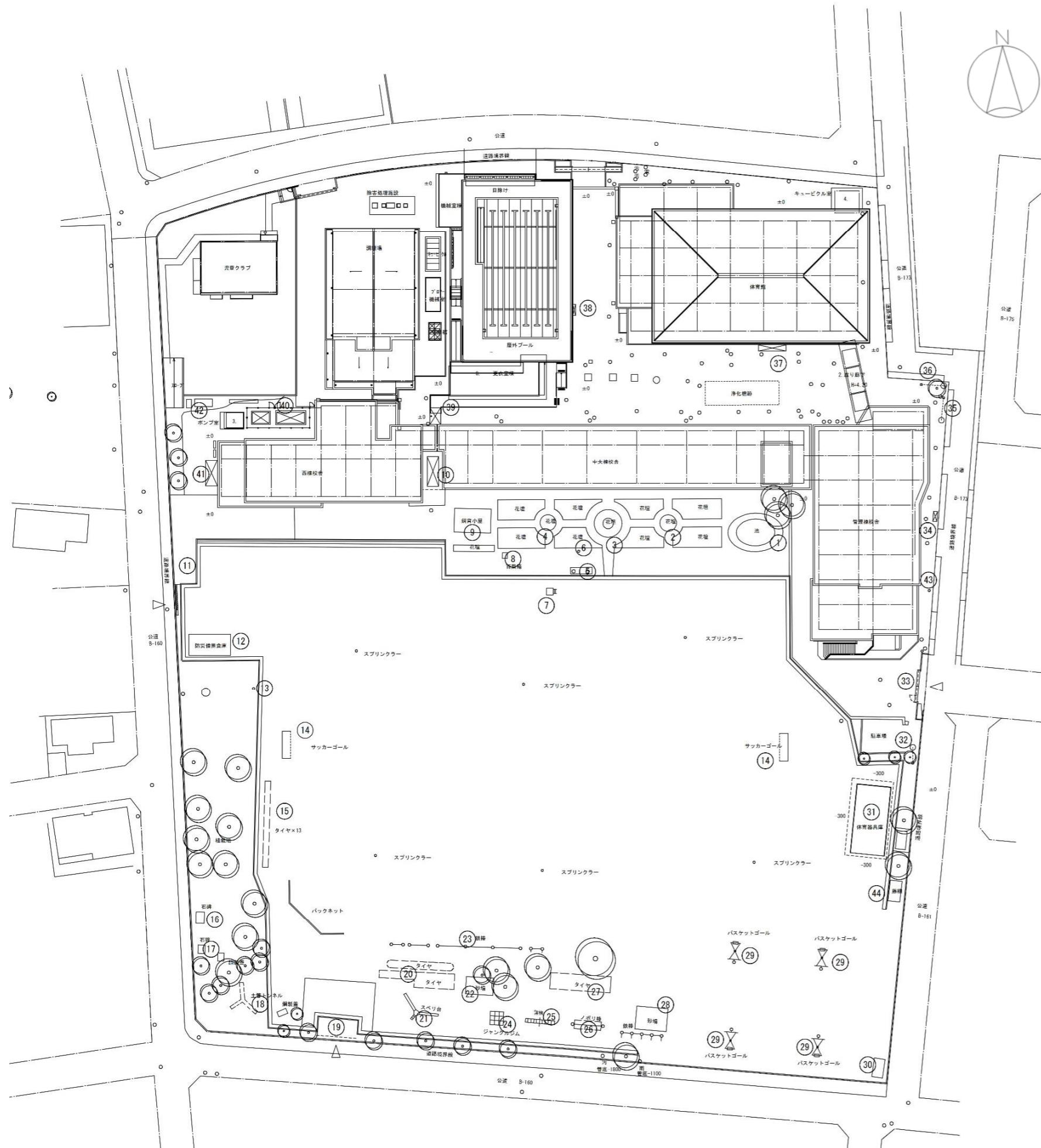
■ 敷地写真



■ 案内図



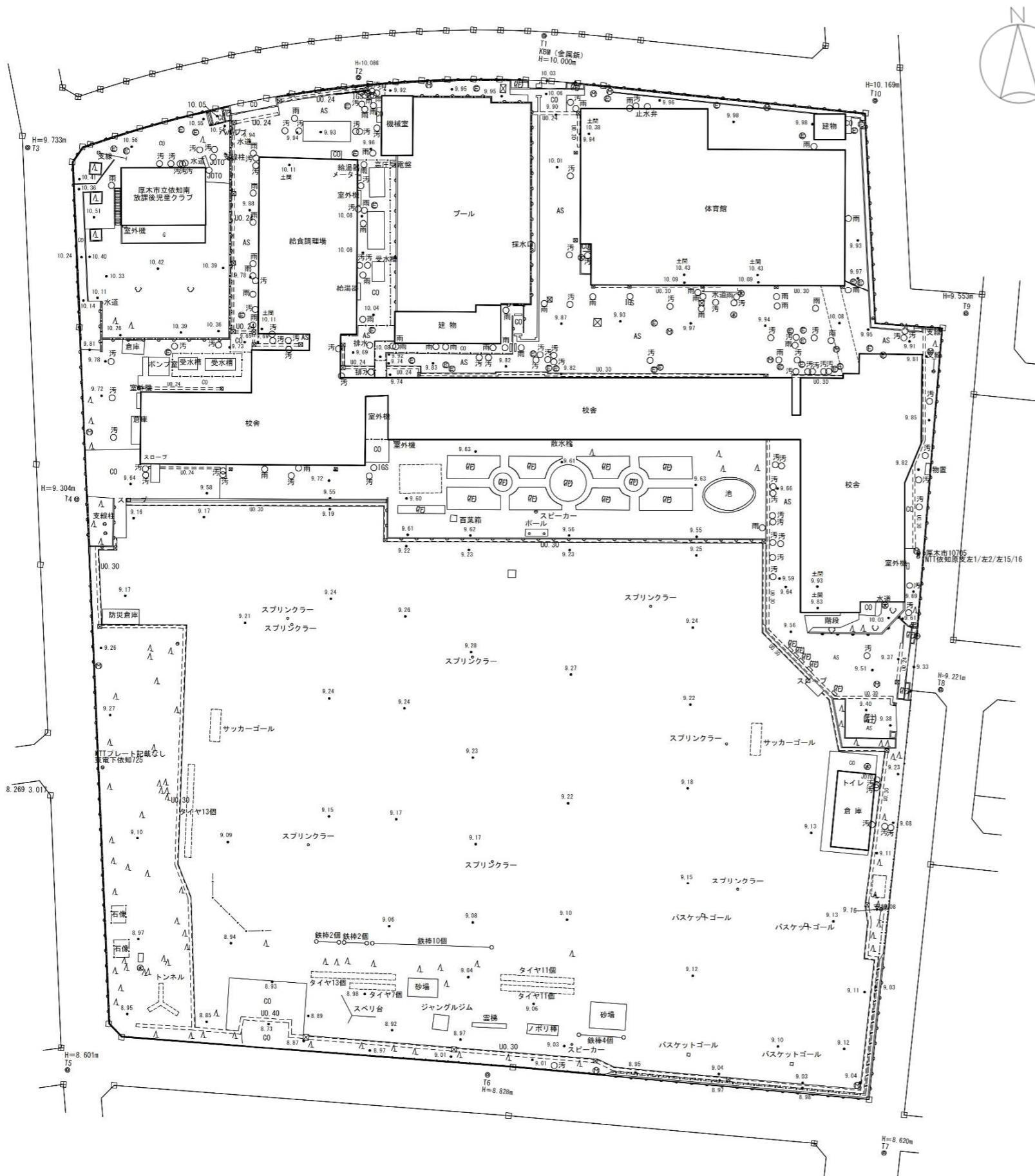
1-(3)現況調査図



依知南小学校 屋外リスト

No.	名称	移設など	備考
1	池	撤去新築	
2	花壇	撤去新築	
3	花壇	撤去新築	
4	欠番		
5	ポール	移設	解体工事にて移設
6	スピーカー	移設	仮設校舎工事にて移設
7	朝礼台	移設	
8	百葉箱	移設	
9	ウサギ小屋	撤去新築	仮設校舎工事にて設置
10	エアコン室外機一部	再利	既存東棟でエアコンがついていない教室へ転用
11	コンクリート柱	撤去	解体工事に撤去
12	防災備蓄倉庫	既存のまま	担当部署で撤去【計画通知未定出】
13	スピーカー	既存のまま	
14	サッカーゴール	既存のまま	
15	タイヤ	既存のまま	
16	石碑	既存のまま	
17	石碑	既存のまま	
18	土管	既存のまま	
19	ゲート	既存のまま	仮設校舎工事進入口
20	タイヤ	既存のまま	
21	滑り台	既存のまま	
22	砂場	既存のまま	
23	鉄棒	撤去新築	仮設校舎工事にて最終的に現位置に新設
24	ジャングルジム	既存のまま	
25	雲梯	既存のまま	
26	登り棒	既存のまま	
27	タイヤ	既存のまま	
28	砂場	既存のまま	
29	バスケット	移設	仮設校舎工事
30	ミニゴール	既存のまま	
31	器具庫	既存のまま	
32	電柱	既存のまま	
33	ゲート	既存のまま	
34	物置	既存のまま	奥行が1m未満、計画通知不要
35	樹	既存のまま	
36	樹木	既存のまま	
37	外構	既存のまま	解体工事にて撤去した外構は復旧
38	プール採水口	既存のまま	
39	通路上屋	撤去新築	
40	ポンプ室	撤去新築	仮設校舎工事にて新設したポンプを今工事にて移設
41	外作業小屋	撤去	解体工事にて撤去
42	物置	撤去	完了検査前に撤去【計画通知未定出】
43	電柱	既存のまま	
44	藤棚	撤去	仮設校舎工事にて撤去

棟名	構造	階数	延床面積	建築年度	築年数	目標耐用年数	更新時期
中央棟	RC	地上3階	1,900.11m ²	S39(1964)	59	60	R 6(2024)
西棟	RC	地上4階	1,617.70m ²	S49(1974)	49	60	R16(2034)
東棟	RC	地上3階	1,837.74m ²	S54(1979)	44	80	R41(2059)
体育馆	S	地上2階	982.77m ²	S58(1983)	40	80	R45(2063)
調理場	RC	地上1階	454.72m ²	H19(2007)	16	80	R69(2087)



凡 例

[Symbol: Solid rectangle]	既存建築物
[Symbol: Dashed rectangle]	無壁舎
[Symbol: AS IL]	アスファルト舗装
[Symbol: CO G]	コンクリート舗装
[Symbol: CO]	砂利敷
[Symbol: Concrete wall]	コンクリート壁
[Symbol: Earth wall]	土留ブロック
[Symbol: U-shaped trench]	U字溝
[Symbol: L-shaped trench]	L字溝
[Symbol: Face]	法面
[Symbol: Protruding wall]	ブロック壁
[Symbol: Fence]	フェンス・さく
[Symbol: Fire hydrant]	消火栓・駐車場
[Symbol: Sewer]	下水孔 (汚水・合流・雨水)
[Symbol: Manhole]	人孔(電気)
[Symbol: Gas manhole]	人孔(ガス・マンホール・水道)
[Symbol: Telephone pole]	電話柱
[Symbol: Signal light]	信号灯
[Symbol: Power pole]	力一ブミラ一通標識
[Symbol: Field]	田・畑
[Symbol: Tree]	樹木
[Symbol: Bamboo forest]	竹林・庭園
[Symbol: Meadow]	荒地・生垣
[Symbol: Flower bed]	花壇・標識
[Symbol: Security light]	防犯灯・照明灯
[Symbol: Corner point]	多角点
• 25.00	地盤高

凡 例

境界点	境界標の種類
田	コンクリート杭
□	金属プレート
⊕	金属鉢
◎	測量基準点

1-(5)外観イメージ（正門より）

■外観計画基本方針

- ・ 依知南小学校は閑静な住宅街に位置し、地域に親しまれている学校です。
- ・ 建替え計画にあたり、既存樹は極力残し低層の3階建て校舎とし、地域への環境の変化が起こらないよう配慮します。



1-(5)外観イメージ



1-(6)内観イメージ

■図書・メディアセンターのイメージ



1-(6)内観イメージ

■図書・メディアセンターのイメージ



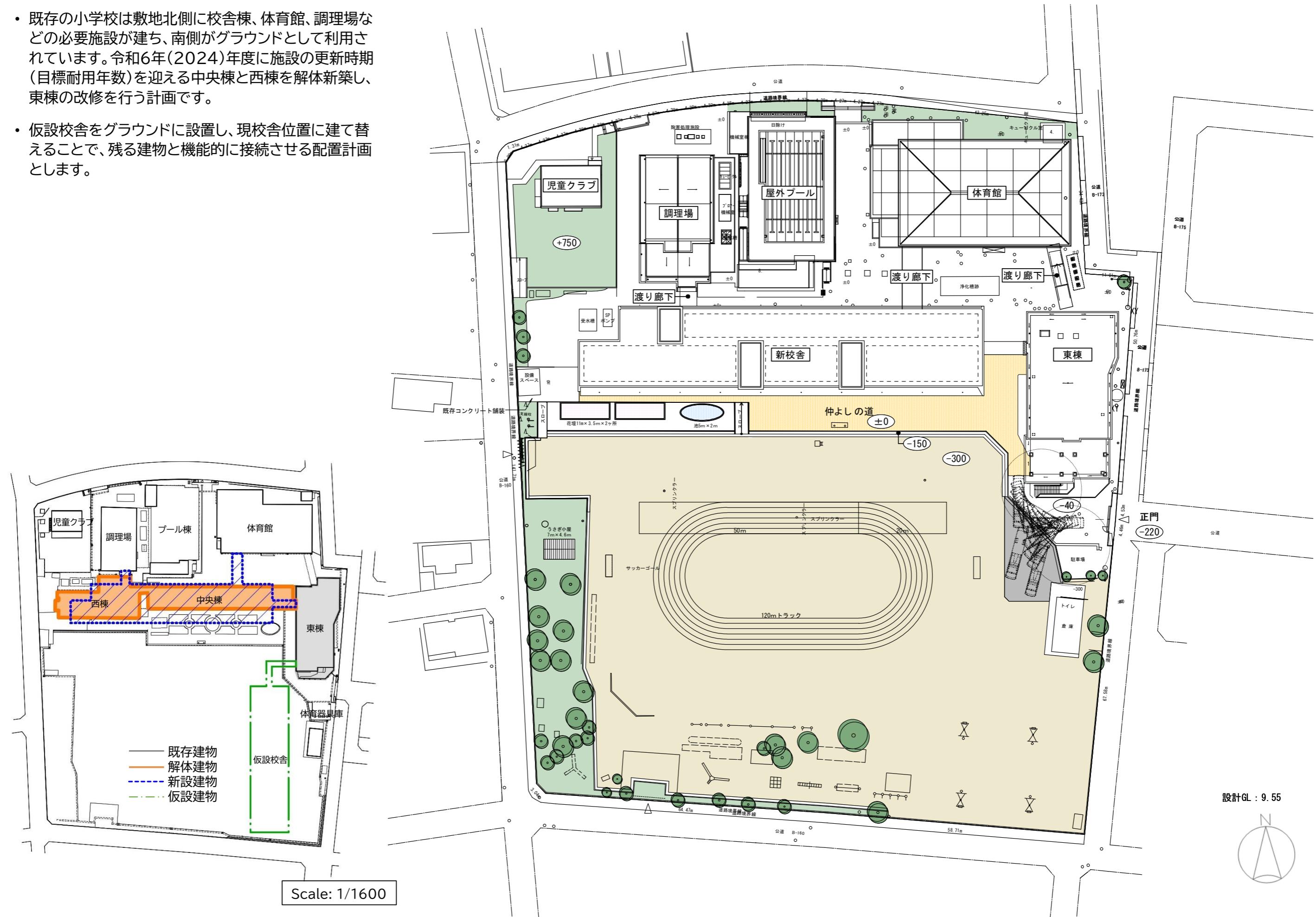
1-(6)内観イメージ

■ DENのイメージ



2-(1)配置計画

- 既存の小学校は敷地北側に校舎棟、体育館、調理場などの必要施設が建ち、南側がグラウンドとして利用されています。令和6年(2024)年度に施設の更新時期(目標耐用年数)を迎える中央棟と西棟を解体新築し、東棟の改修を行う計画です。
- 仮設校舎をグラウンドに設置し、現校舎位置に建て替えることで、残る建物と機能的に接続させる配置計画とします。



2-(2)平面計画

①児童の学ぶ力を育むゾーニング(2F、3F)

CR(普通教室)は良好な学習環境を確保するため、全て南面に配置します。

1フロアの中央に多目的ルームを配置し、様々な学習形態に柔軟に対応でき学年集会が行える広さとします。

教室の間に設けたDENは、他学年交流や児童の居場所となる空間づくりとします。

みんなのモール(廊下)によって、CRや多目的室、少人数教室、DENがつながり、基本となる生活の場・学習の場を整備します。



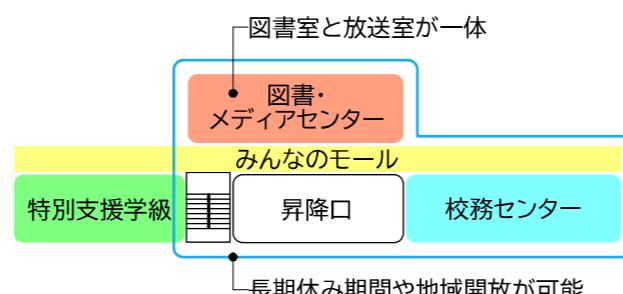
■みんなのモールでつながる2・3Fゾーニング図

②学校の中心に設けたメディアセンター(1F)

児童・教職員・来校者の玄関を昇降口として1カ所にまとめ、正面にメディアセンターを配置し、新たな学校の顔づくりを行います。

昇降口前で職員室近くのメディアセンターは通常学習の場だけでなく、放課後や長期休み期間中にも児童が利用しやすい配置とします。

特別支援学級からも利用しやすく、将来長期休み期間中や地域への開放も可能な、誰もが使いやすく学習意欲を高めるメディアセンターとして整備します。



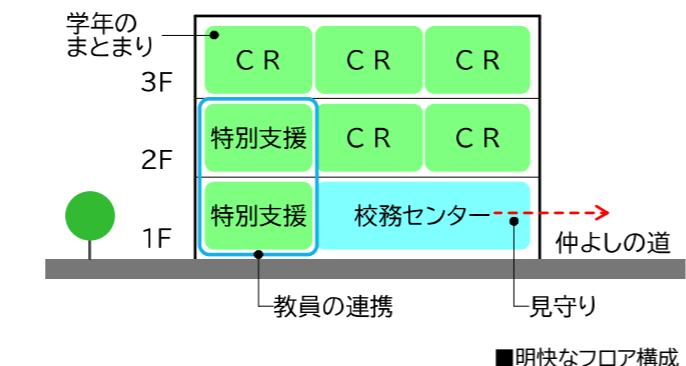
■中心に図書・メディアセンターを設けた1Fゾーニング図

③明快なフロア構成

CRは全て同じ設えとし、校舎中央に多目的ルームを配置することで、成長段階に関わらず、どの学年でも等しく学ぶことができる計画とします。

特別支援学級は2フロア構成とし、近くに階段を設けることで、教員の連携が図れる計画とします。

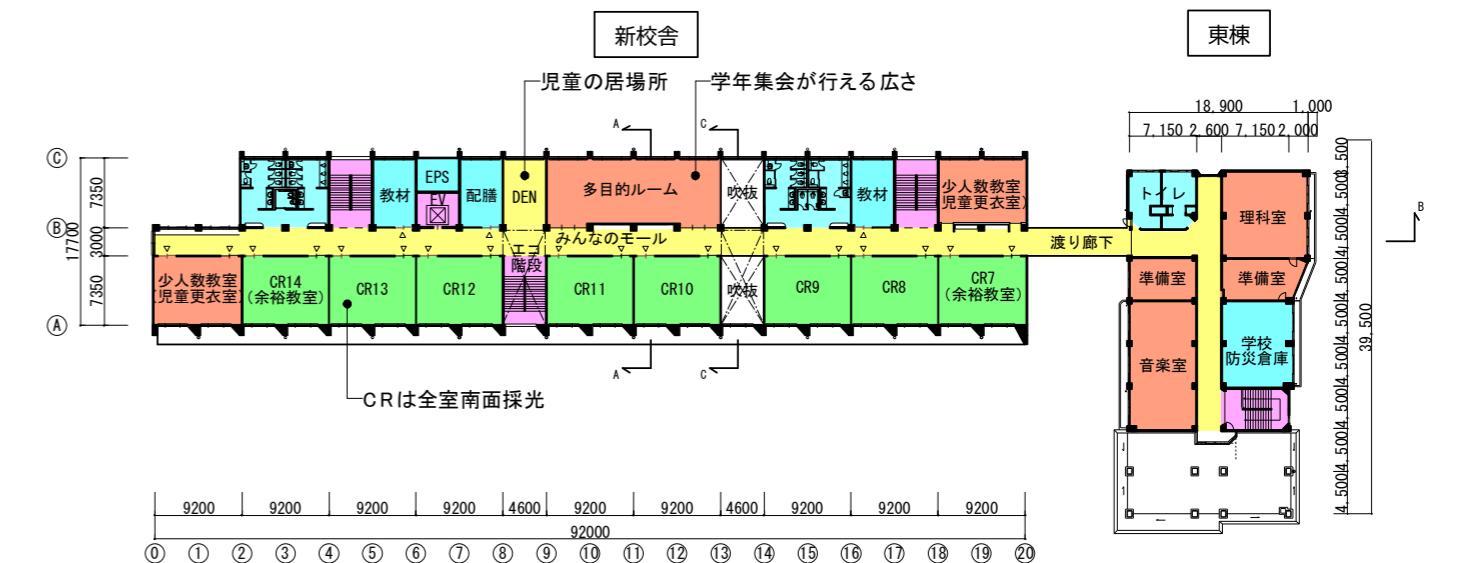
校務センターは、昇降口に隣接し校門やグラウンドが見渡せる配置とし、児童の安全と安心を守る計画とします。



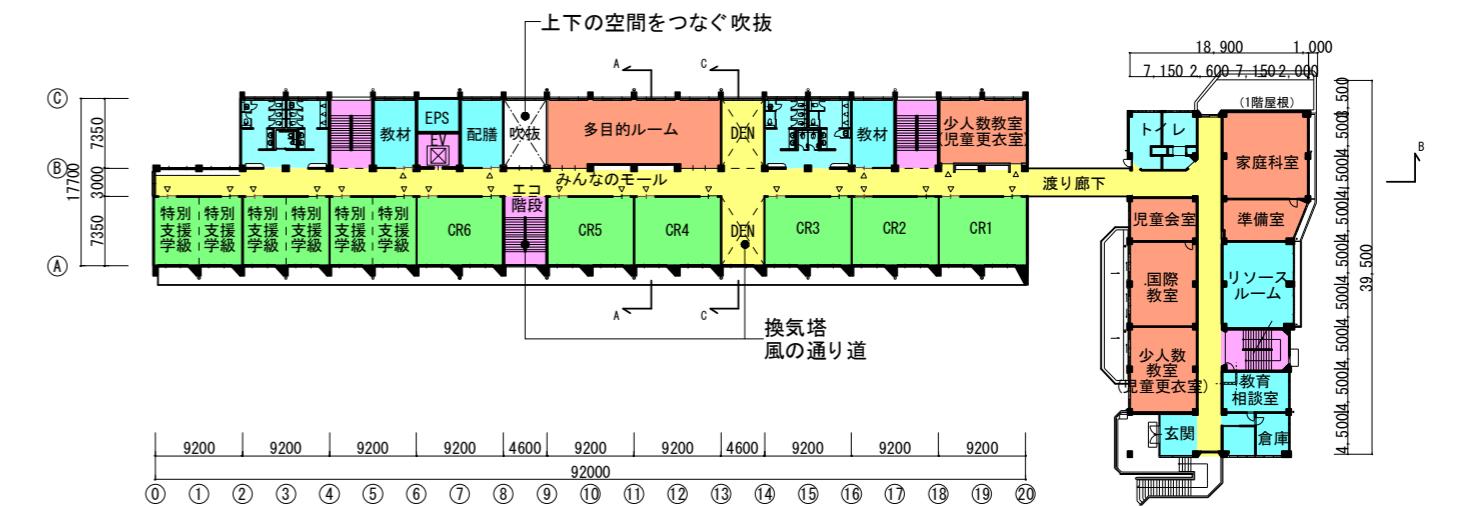
■明快なフロア構成



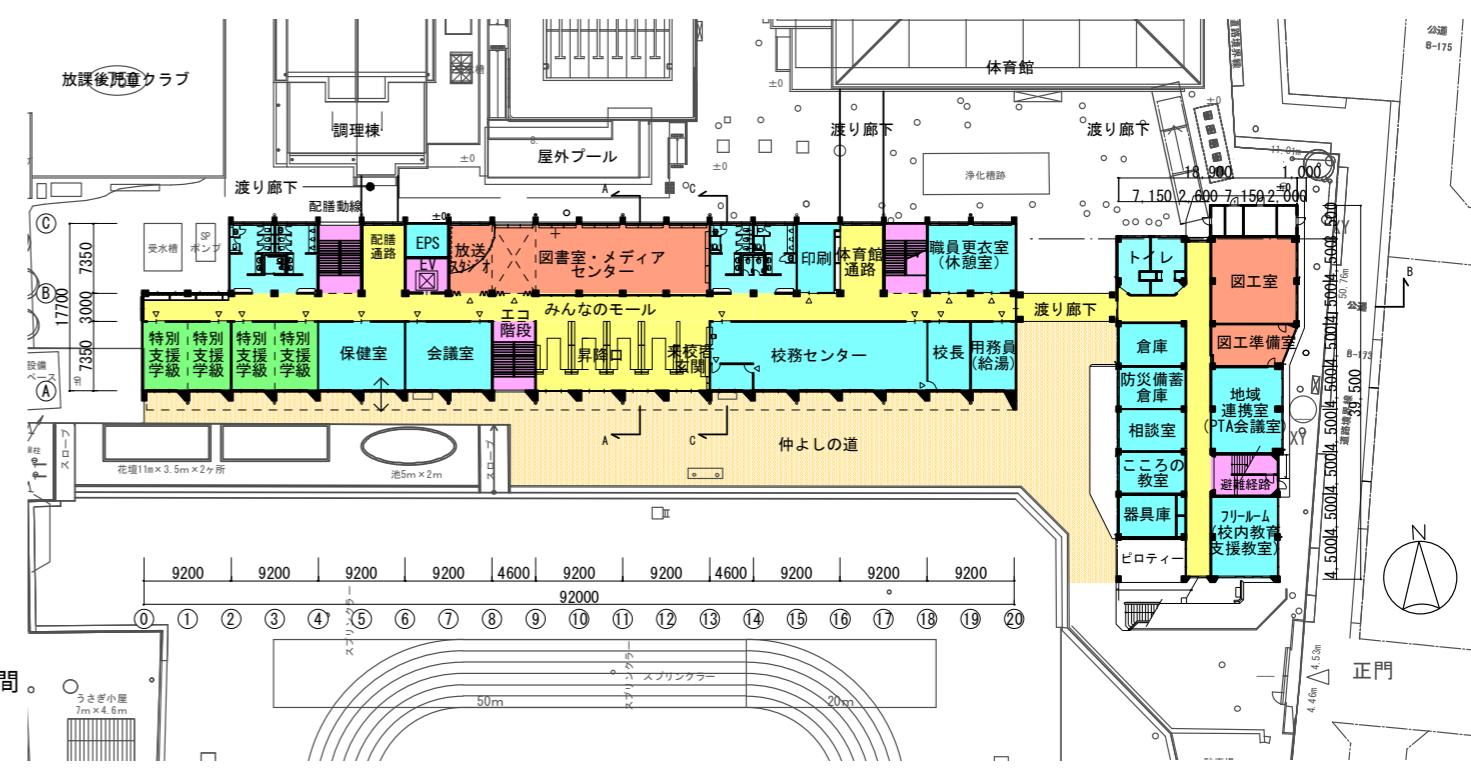
依知南小学校施設建て替え整備 基本設計書



■3階平面図 Scale: 1/800

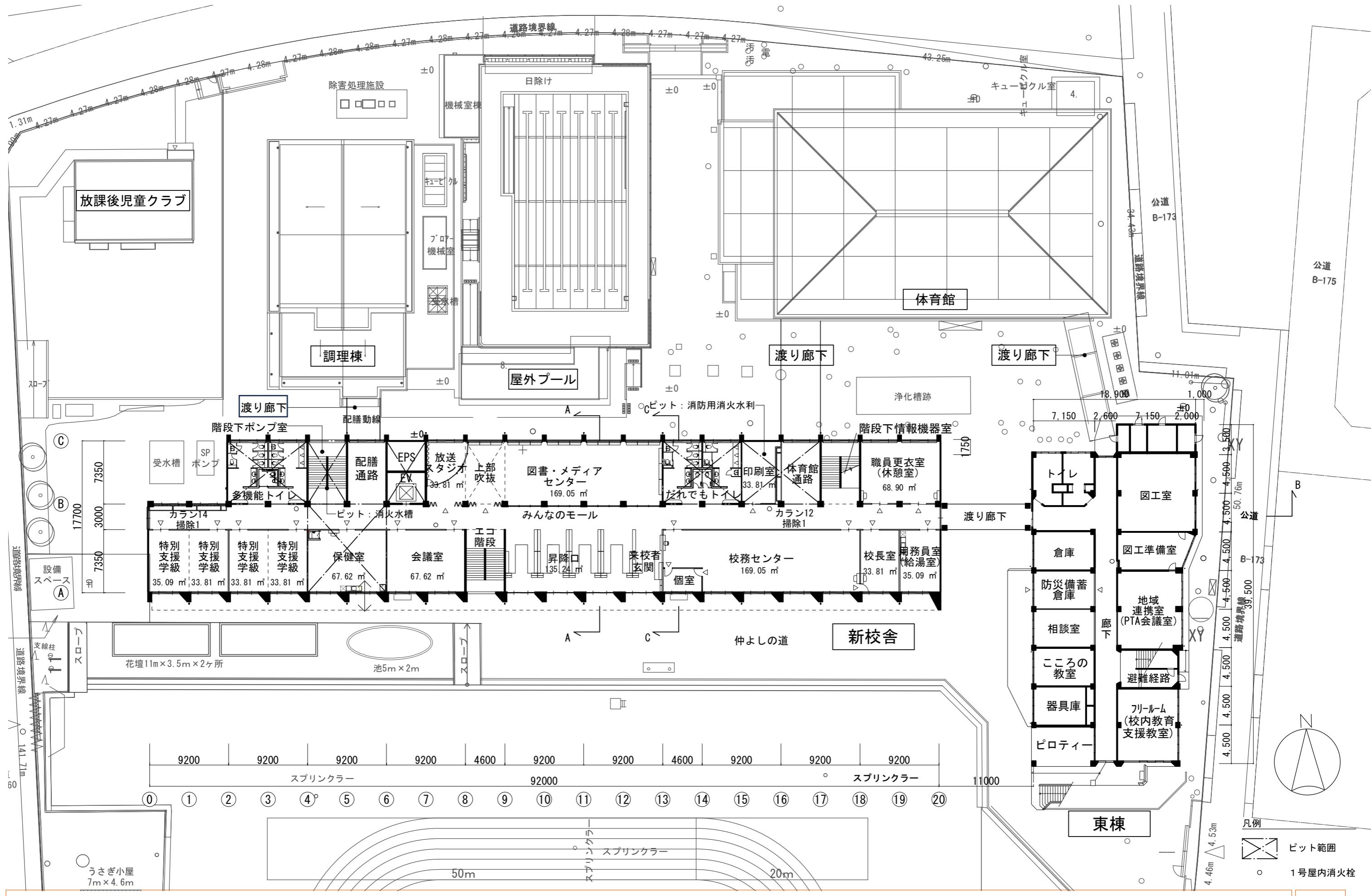


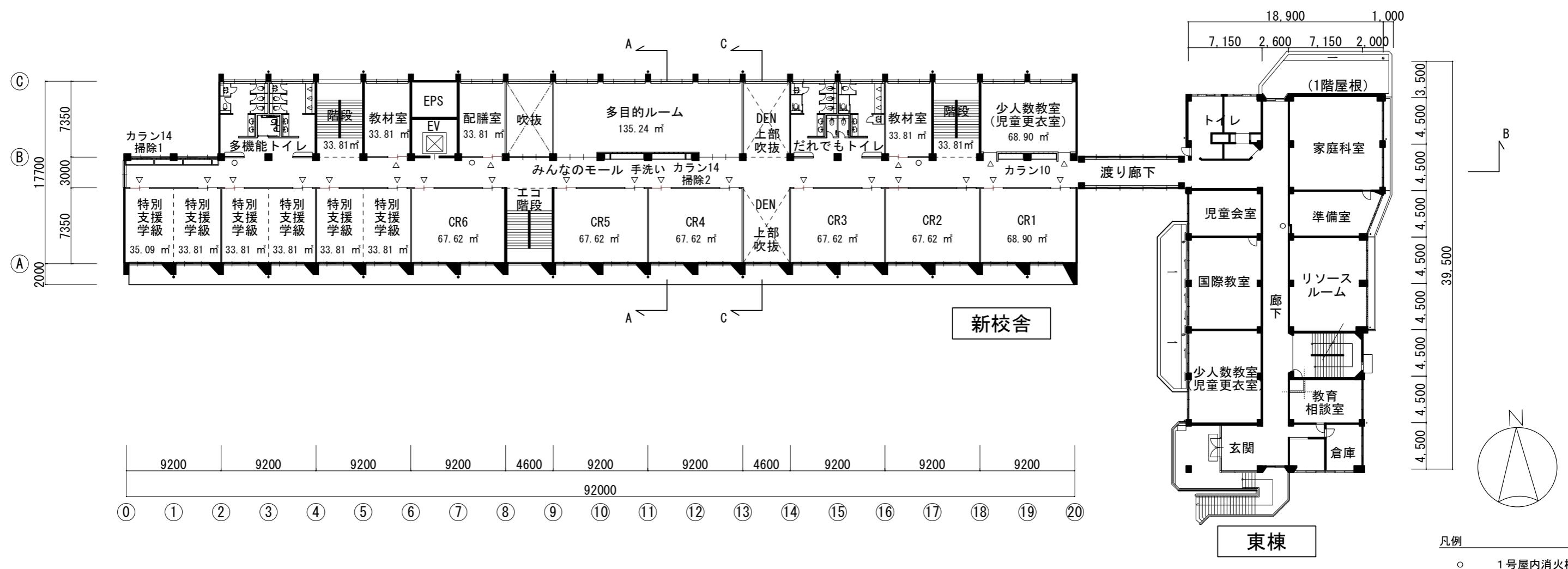
■2階平面図 Scale: 1/800

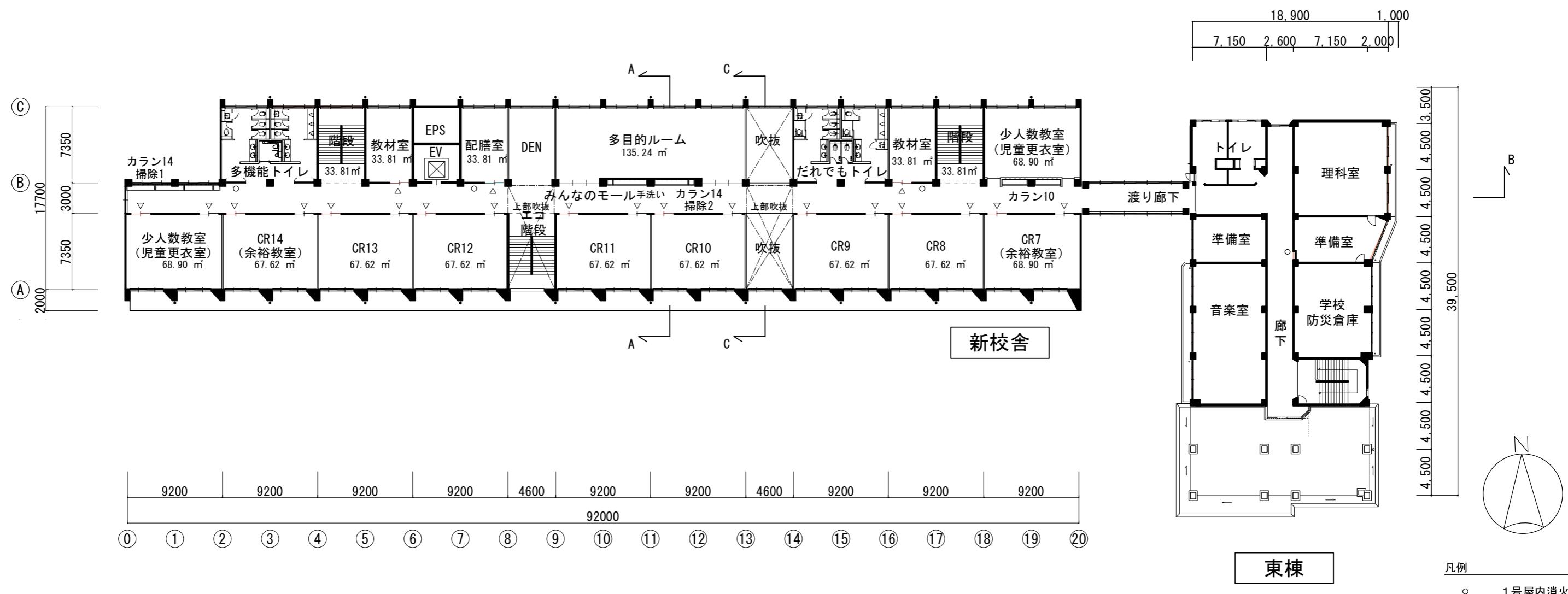


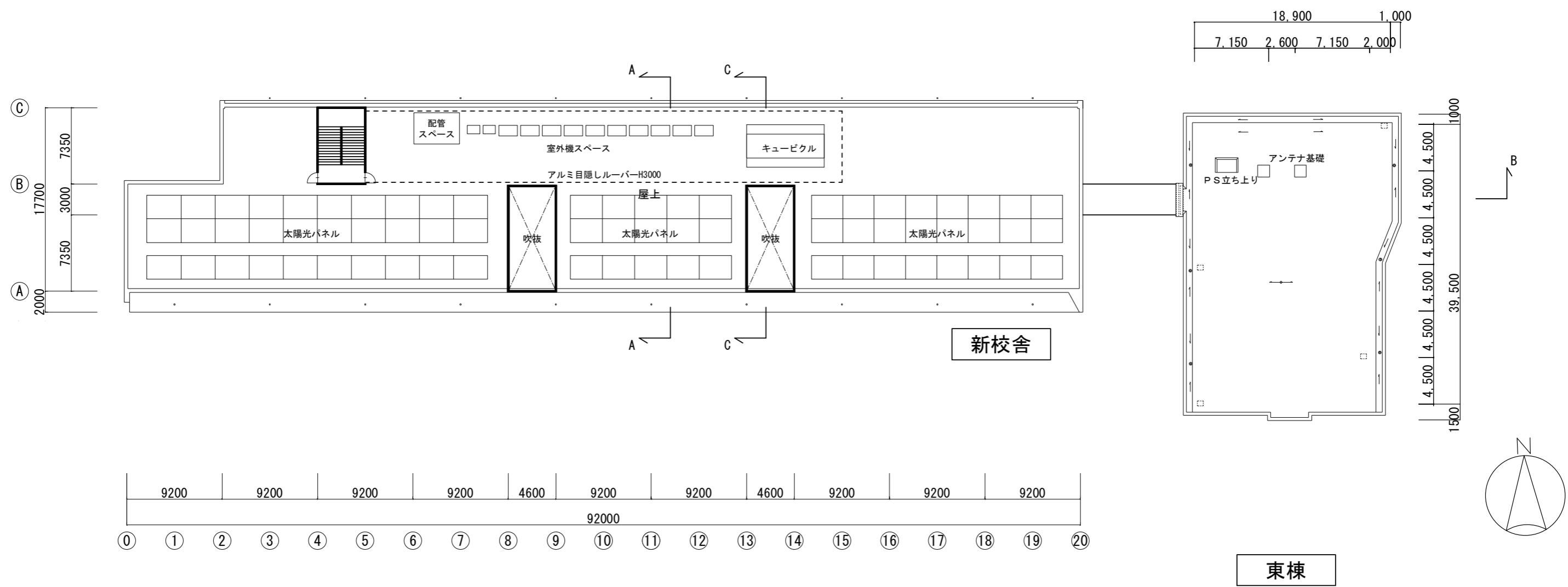
■1階平面図 Scale: 1/800

2-(2)各階平面計画-1F



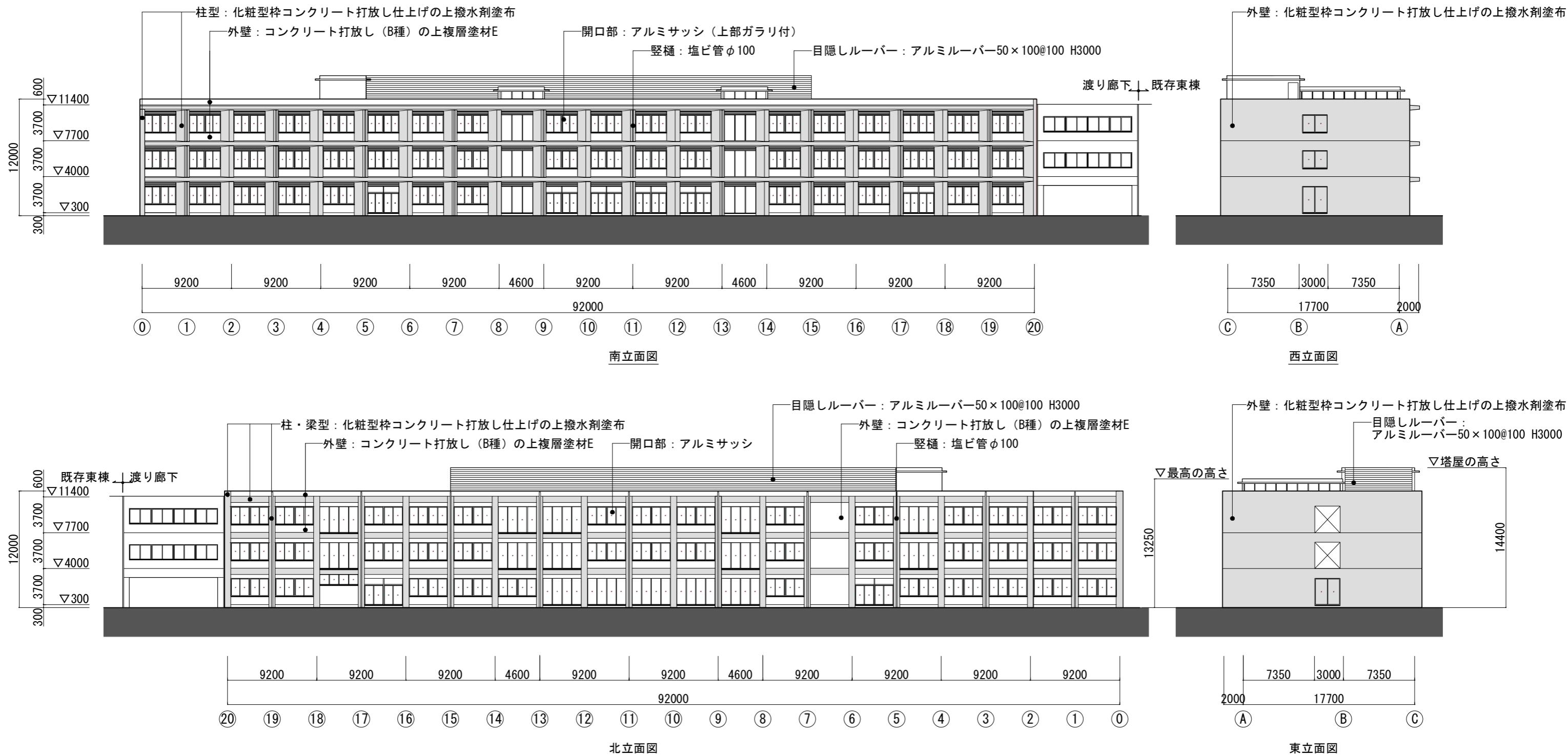






■ 住宅街と緑に調和する落ち着いた色調の外観

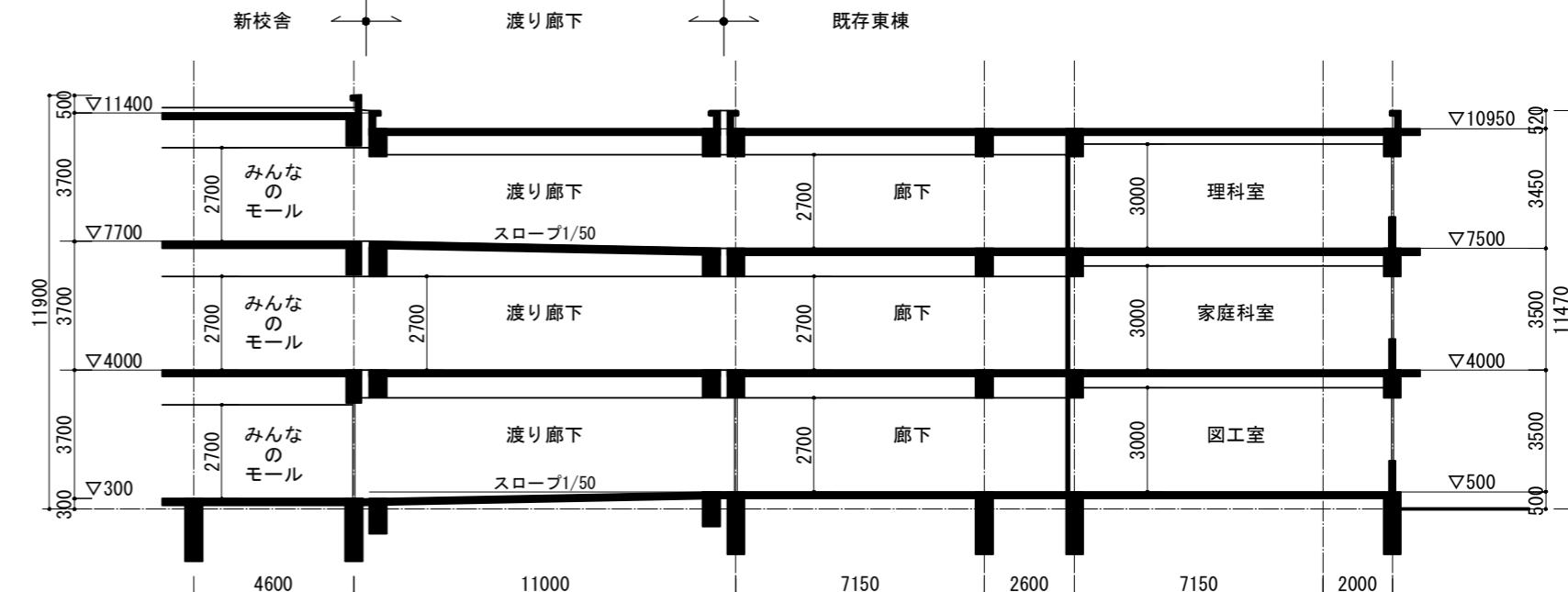
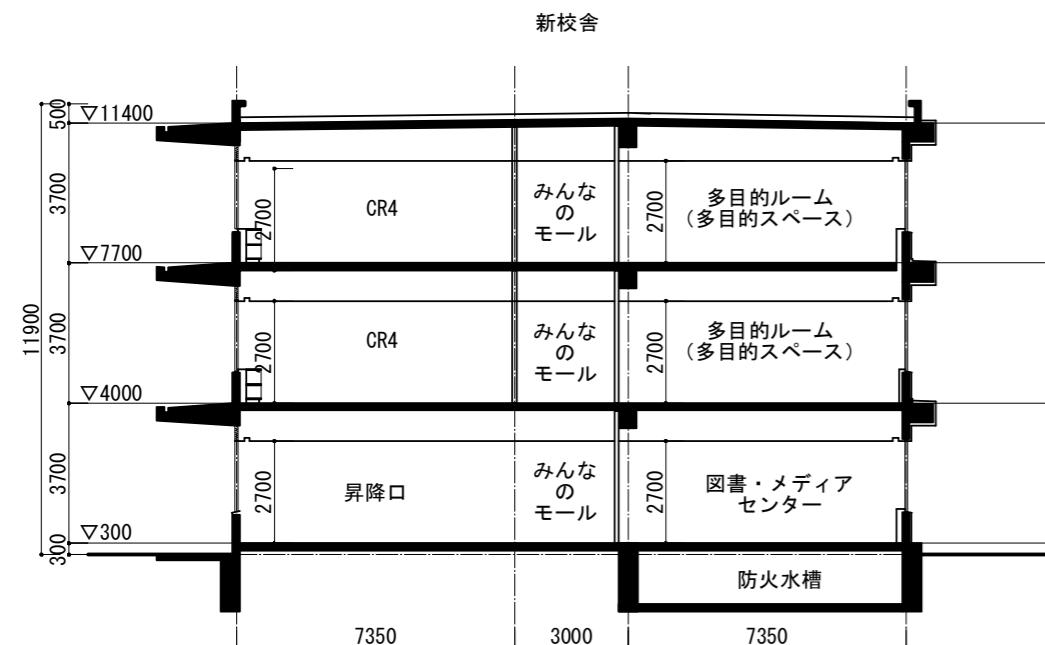
- 普通教室が並ぶ南側外観は、鉄筋コンクリート造の偏平柱・梁にてアウトフレームを構築し、彫りが深くリズミカルなデザインとすることで、地域に圧迫感のない計画とします。伸びやかな水平ラインは直射光を遮り、省エネルギーにも配慮します。
 - アウトフレームは、化粧型枠コンクリート打放し+撥水材塗布とし、教室の窓の上下はコンクリート打放し+複層塗材Eとすることで、コストバランスに配慮するとともに、素材の存在感と表情のあるデザインとします。
 - アウトフレーム以外の外壁は一般的なコンクリート打放し+複層塗材Eとすることで近年の物価上昇によるコスト削減を図ります。



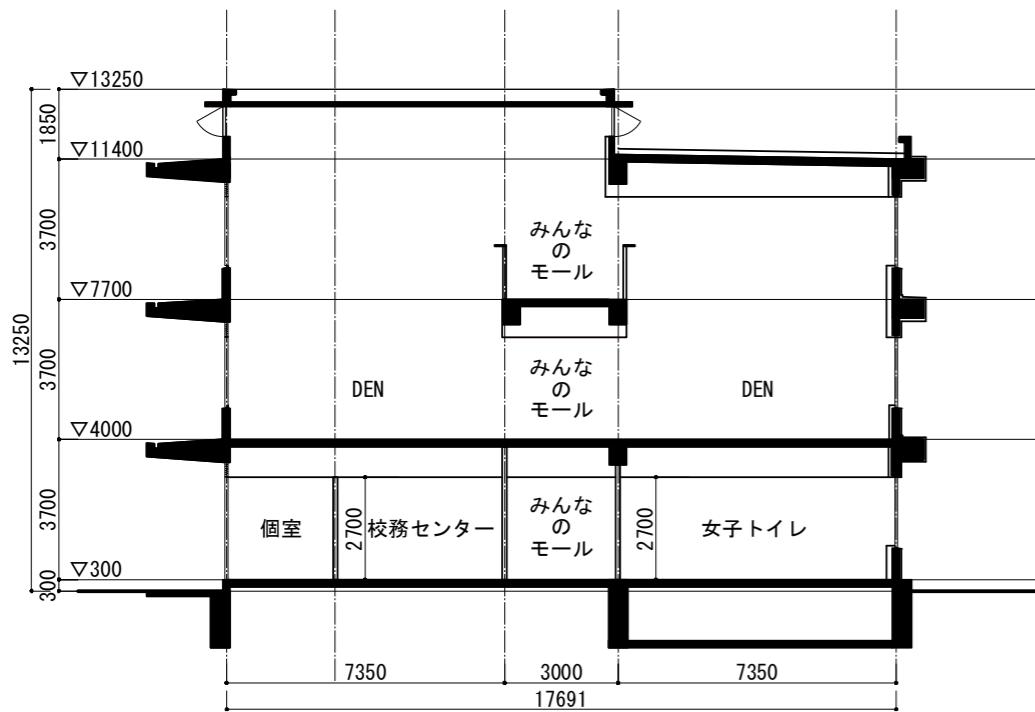
2-(4)断面計画

既存建物との接続に配慮した断面計画

- 新設校舎棟は既存東棟と屋内渡り廊下で接続するため、極力スロープが不要となり、かつ経済的な階高設定を行います。
- 梁型は扁平梁とすることで、設備ダクトによる梁貫通が出ない計画とし、躯体の強度を確実に確保します。
- 屋根はコンクリートの陸屋根とし、屋上に空調室外機やキュービクル、太陽光パネルを配置することで、敷地を有効に利用します。
- 勾配屋根と比較し、敷地の有効利用、太陽光パネルのメンテナンス性、屋根材の費用による経済性含めメリットの高いコンクリート陸屋根の計画とします。

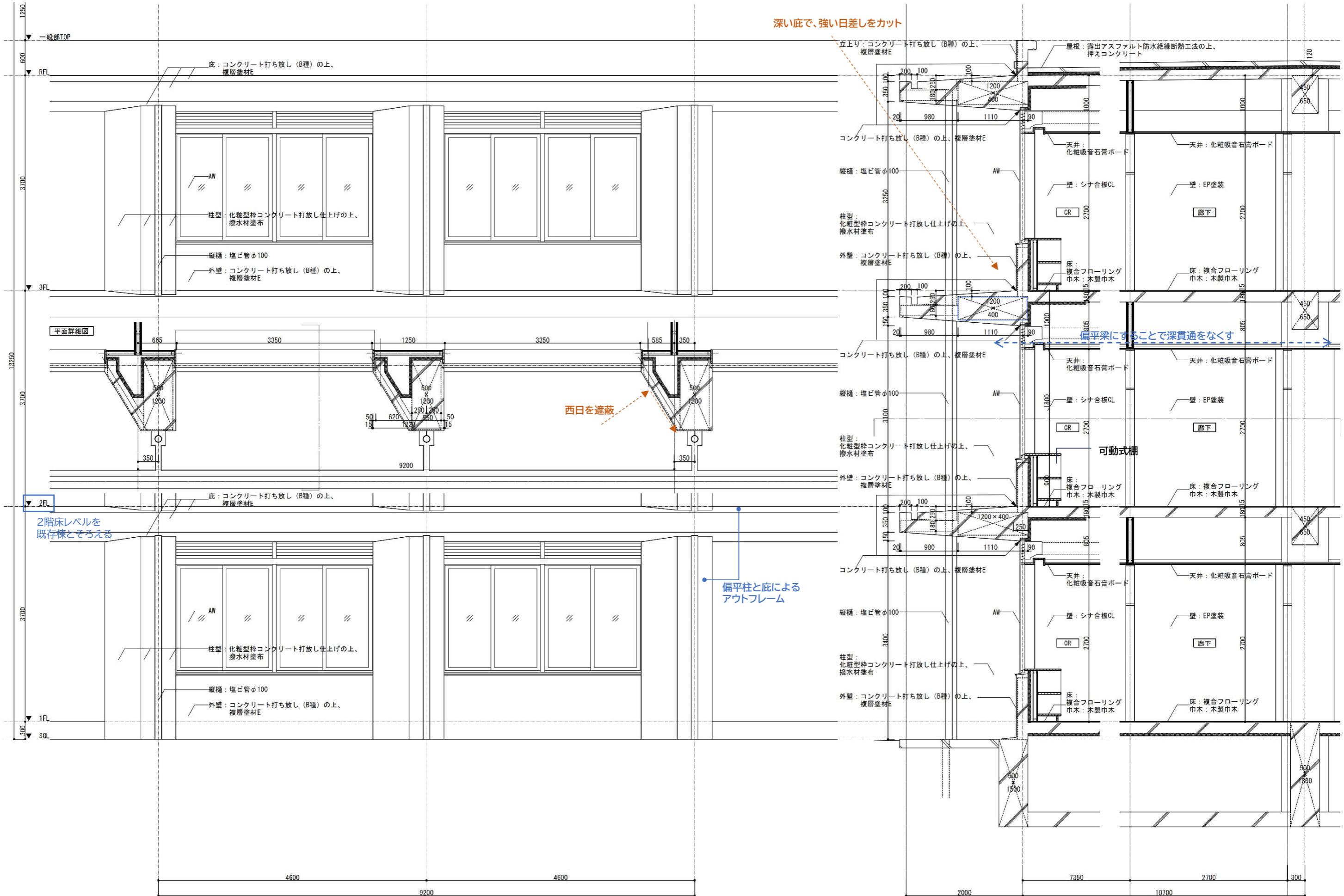


断面 A

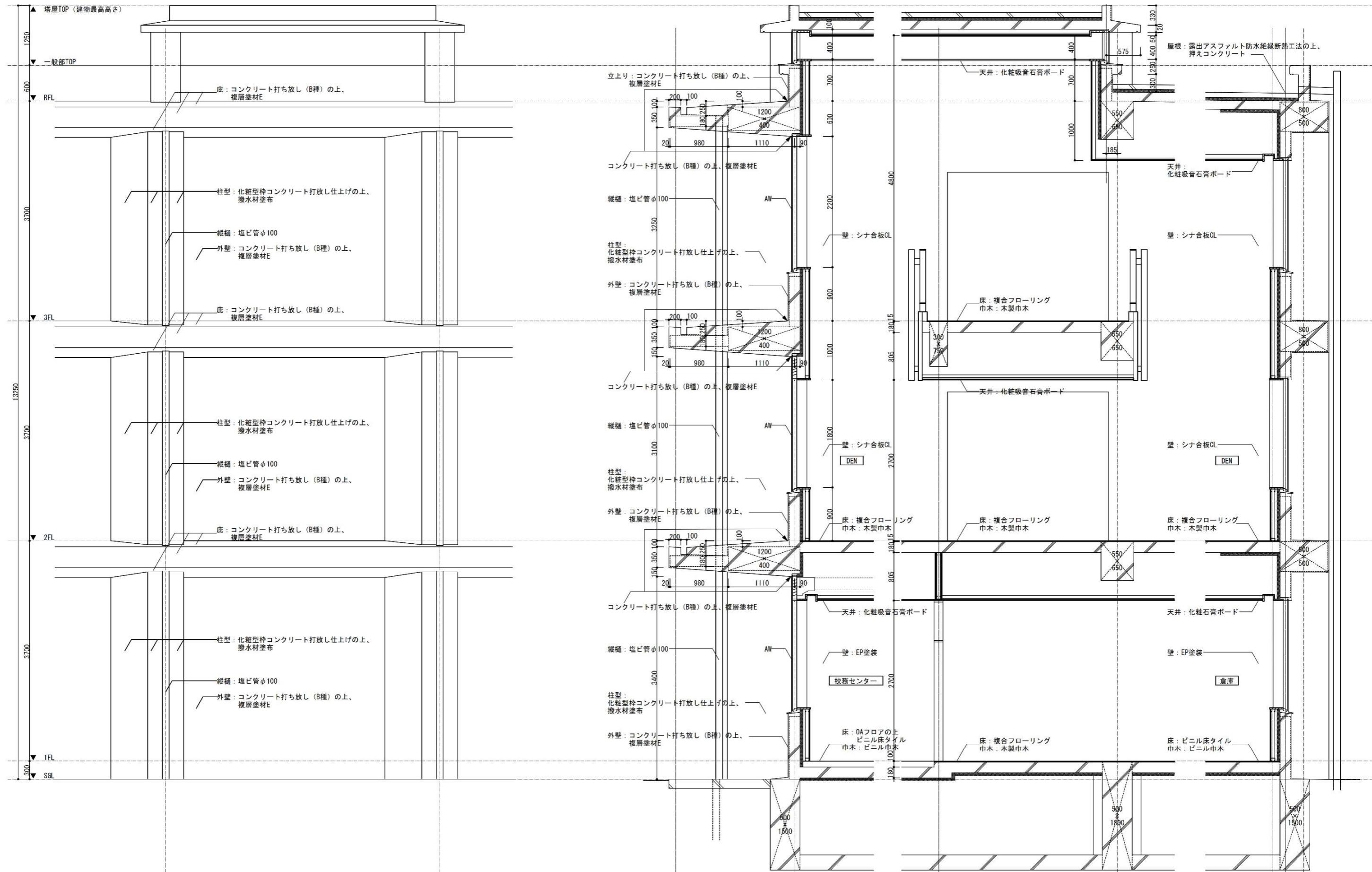


断面 C

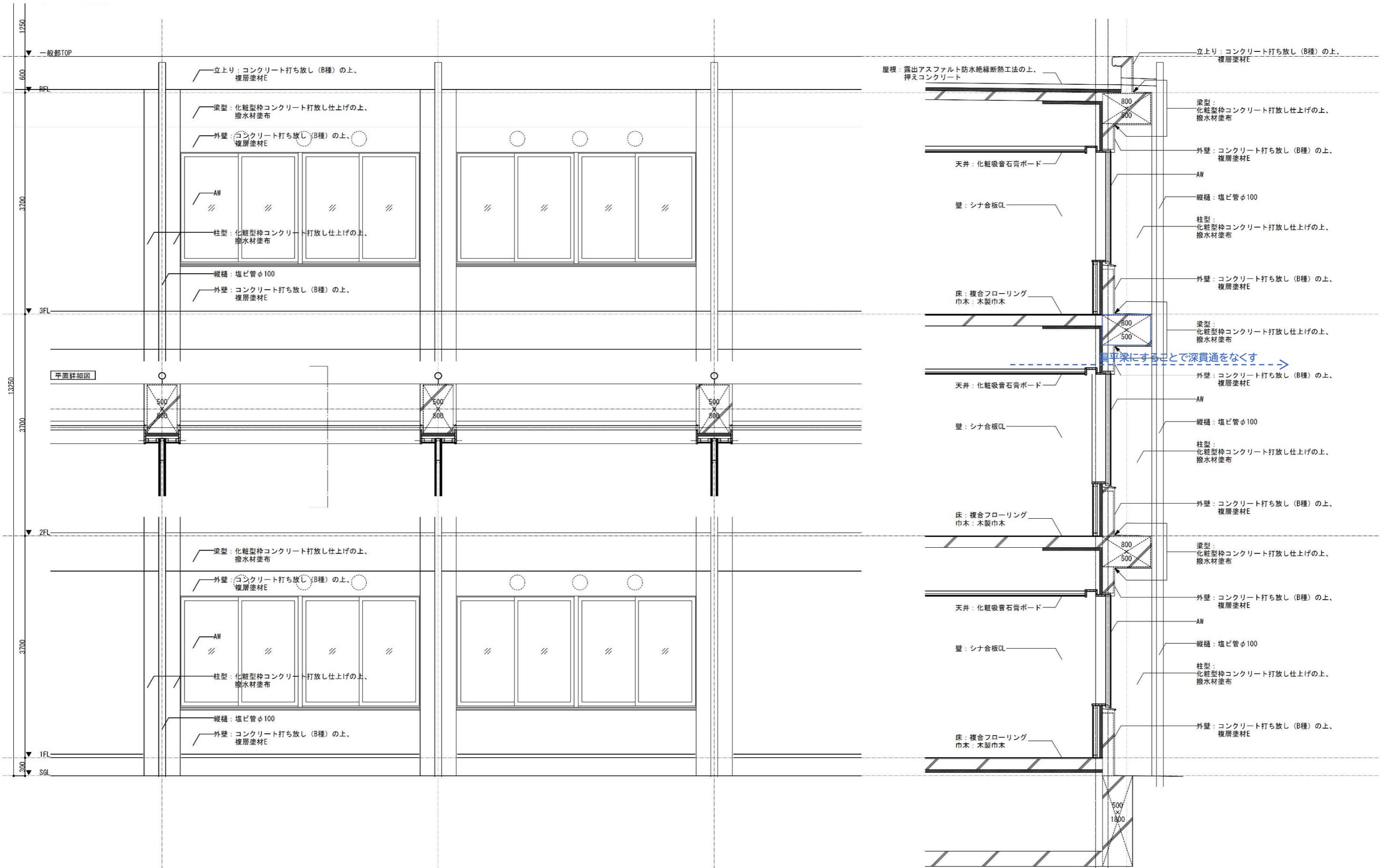
2-(4)断面計画 南側立面矩計図



2-(4)断面計画 南側立面矩計図



2-(4)断面計画 北側立面矩計図



■ 外壁の選定

- 鉄筋コンクリート造で使用される壁の材料として、鉄筋コンクリートや押出成形セメント板、ALC板が挙げられます。メンテナンス費用、耐用年数にはあまり差はなく、コストについてはコンクリートが最も高いが、断熱性能に優れています。
- また、押出成形セメント板やALC板は工種、工程が複数必要となり工期がかかることから、外壁はコンクリートを採用し、工期の短縮によるコスト削減を図ります。

	外壁:コンクリート	外壁:押出成形セメント板	外壁:ALC板
イメージ			
コスト	22,000円/m ²	17,500円/m ²	10,300円/m ²
メンテナンス	15~20年 外壁塗装、 誘発目地・構造スリットシール、 クラック処理	15~20年 外壁塗装、パネル間シール	15~20年 外壁塗装、パネル間シール

■ 床材の選定

- 床材の選定にあたり、学校で多く使用される、フローリングやビニル床シート、ビニル床タイルの比較検討を行い、児童が多くの時間を過ごす、CRや多目的ルーム、廊下には自然の温かみが感じられる複合フローリングとし、その他の部屋はビニル床タイルとし、機能性、コスト面など総合的に判断します。トイレや水回りには目地のないビニル床シートを採用します。

	床:単層フローリング ウレタン塗装	床:複合フローリング ウレタン塗装	床:ビニル床シート	床:ビニル床タイル (コンポジション)
イメージ				
コスト	8,700円/m ²	4,800円/m ²	2,600円/m ²	1,800円/m ²
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 無垢材で温かみがある。 湿度や温度により伸縮があり、反りが起こりやすい。 	<ul style="list-style-type: none"> 表面が天然木の為、温かみがある。 積層板のため反りが少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> 木目調など意匠上選択幅が広い。 比較的安価。 ノンスリップや抗菌仕様がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 欠損や汚れがある場合、部分的に張り替えることができる。 OAフロアに対応できる。 安価

■ 機能性、耐久性に配慮した仕上の選定

- 耐久性、メンテナンス性を考慮し、防音や吸音、断熱にも配慮した計画とし、シックハウスを考慮した材料を使用します。
- 外壁と階段壁はRC造とし、それ以外の間仕切り壁は軽量鉄骨下地の乾式工法とすることで、工事の簡素化と将来の間仕切りの変更などに対応できる計画とします。また、石膏ボードをスラブ下まで張り上げることで、遮音対策を図ります。
- 教室間の間仕切り壁は耐火構造とし、軽量鉄骨下地を千鳥配置、上張面材は硬質とすることで、耐火性能と遮音性能、表面材の強化を満たすこととします。
- また、遮音性能としては120厚RC壁がTLd値45より、同等のTLd値44~45以上の仕様とします。
- 「神奈川県建築物等における木材利用促進に関する方針」「厚木市建築物等における木材利用促進に関する方針」に基づき、床や壁、家具の仕上げを市産木材や県産木材とし、温かみのある内装計画とします。
- 教室と廊下は一体利用が出来る様に、同一の材料とします。
- トイレや配膳室など機能性が求められるエリアについては、ビニル床シート防滑性床材を採用することで、メリハリのある計画とします。



壁高さ	スタッド(JIS材)	ランナー(JIS材)
~3.3m以下	65形	75形
3.3m超~3.7m以下	75形	90形
3.7m超~4.2m以下	90形	100形

※□型スタッドの一般材(板厚0.5mm厚)や角スタッドを用いた場合の施工可能な壁高さについては、各鋼製下地メーカーへご確認願います。

※詳細は、P.50をご参照ください。

■ 間仕切り壁(参考)

※詳細・仕様は実施設計にて決定する

2-(5)仕上計画 外部仕上表 内部仕上表一新設校舎

■ 外部仕上表

対象	部位	仕様	備考	対象	部位	仕様	備考
校舎	外壁	コンクリート打放し仕上、撥水剤		校舎	軒天	撥水性コンクリート用塗装、ケイカル板、外装薄塗材E	
		コンクリート打放し仕上げ、複層塗材E			目隠し	屋上目隠しルーバー(人工木ルーバー)	
	屋根	アスファルト露出防水絶縁断熱工法+押えコンクリート			ガラス	LOW-E複層ガラス(空気6mm)	
	庇	ウレタン防水			建具	アルミ製建具、鋼製建具	
				外構		仲よしの道:車道用インターロッキング舗装	

■ 内部仕上表一新設校舎

階	室名	床	巾木	壁※LGS下地は全てスラブまで	天井	天井高	黒板● 白板○	掲示板	背面棚	窓下棚	掃除用具入	教師棚	可動間仕切	カーテンレール共	スクリーン	ピクチャーレール	家具	備品・設備
1	図書・メディアセンター	複合フローリング	木製巾木	シナ合板CL	化粧吸音石膏ボード	2.7	○	●			●			●	●		書架棚、円形テーブル、司書カウンター	テーブル、椅子、ツール、ラグ、ブックラック、スクリーン
1	校務センター	OAフロアービニル床タイル	ビニル巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	2.7	○	●		●				●			スチール棚	デスク、椅子、テーブル、手洗器
1	校長室	複合フローリング	木製巾木	木調化粧ケイカル板	化粧吸音石膏ボード	2.7		●		●				●	●		システム戸棚	デスク、椅子、ソファーセット、センターーテーブル、手洗器
1	用務員室	ビニル床タイル	ビニル巾木	EP塗装	化粧石膏ボード	2.5					●			●			スチール棚、戸棚	デスク、テーブル、椅子、キッチンキャビネット(IH)、洗濯機パン
1	職員更衣室	ビニル床タイル	ビニル巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	2.5								●				手洗器、ロッカー
1	印刷室	ビニル床タイル	ビニル巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	2.5											スチール棚	作業台、丸椅子
1	放送スタジオ	複合フローリング	木製巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	2.7								●				デスク、椅子、スクリーン
1	会議室	ビニル床タイル	ビニル巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	2.7	○	●		●				●	●			長テーブル、椅子、可動WB
1	保健室	複合フローリング ノンスリップ床シート	木製巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	2.7		●			●			●	●		収納ベッド、布団棚、ベット脇収納、薬品棚、器機棚、ステンレス流し台、AED収納、担架収納、収納棚	シャワーユニット、洗面器、洗濯機パン、デスク、椅子、診察台、衝立、角椅子、テーブル
1	男女トイレ	ビニル床シート	床材立上げ	不燃化粧板	化粧石膏ボード	2.5											トイレブース	手洗器
1	みんなのモール(廊下)	複合フローリング	木製巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	2.5									●			
1	階段・エコ階段	複合フローリング	木製巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	-												
1	昇降口・来校者玄関	磁器質タイル	磁器質タイル	シナ合板CL	化粧吸音石膏ボード	2.7		●			●						下足棚	傘立
1	配膳通路・体育館通路	複合フローリング	木製巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	2.5		●										
2.3	多目的ルーム	複合フローリング	木製巾木	シナ合板CL	化粧吸音石膏ボード	2.7	○	●		●	●			●	●	●		台形テーブル、椅子、可動WB、ブックラック
2.3	CR1~14	複合フローリング	木製巾木	シナ合板CL	化粧吸音石膏ボード	2.7	●	●	●	●	●			●	●			机、椅子、教師机、教卓、配膳台
1.2	特別支援教室	複合フローリング	木製巾木	シナ合板CL	化粧吸音石膏ボード	2.7	●	●	●	可動	●	●	●	●	●			机、椅子、教師机、配膳台
2.3	少人数教室	複合フローリング	木製巾木	シナ合板CL	化粧吸音石膏ボード	2.7	○	●		●	●			●			廊下側カーテンレール	机、椅子、教師机、教卓
2.3	教材室	ビニル床タイル	ビニル巾木	EP塗装	化粧石膏ボード	2.5											スチール棚	
2.3	配膳室	ビニル床シート	ビニル巾木	不燃化粧板	化粧吸音石膏ボード	2.5											ステンレスシンク	
2.3	階段	複合フローリング	木製巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	-												
2.3	みんなのモール(廊下)	複合フローリング	木製巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	2.5		●							●			
2.3	DEN	複合フローリング	木製巾木	シナ合板CL	化粧吸音石膏ボード	2.5									●			
2.3	渡り廊下	ビニル床タイル	ビニル巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	2.5												
2.3	男女トイレ	ビニル床シート	床材立上げ	不燃化粧板	化粧石膏ボード	2.5											トイレブース	手洗器

2-(5)仕上計画 内部仕上表一既存校舎

		既存室名 改修室名	床	巾木	壁 ※LGS下地は全てスラブまで	天井	天井高	黒板● 白板○	掲示板	掃除用 具入	教師 棚	カーテンレ ール共	家具	備品・設備
1	既存	図工室	ブナフローリングブロックOSW	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラスチーン張り	3.0							
	改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま								
1	既存	図工準備室	ブナフローリングブロックOSW	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラスチーン張り	3.0							
	改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま								
1	既存	コミュニティルーム	ブナフローリングブロックOSW	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラスチーン張り	3.0							
	改修後	地域連携室(PTA会 議室)	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	3.0							
1	既存	PTA会議室	◆ビニルアスベスト系タイル貼り	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラスチーン張り	3.0							
	改修後	倉庫	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	3.0							
1	既存	昇降口	◆人造石研出(真鍮目地)(水勾 配付)	人造石研出	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラスチーン張り	2.7						★下足棚	
	改修後	こころの教室	床組+複合フローリング	木製巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	2.7	○	●	●	●		収納棚、ロッカー、下足棚	机、椅子、作業机、ソファ、座卓、 クッション、テーブル
1	既存	昇降口	◆人造石研出(真鍮目地)(水勾 配付)	人造石研出	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラスチーン張り	2.7						★下足棚	
	改修後	相談室	床組+複合フローリング	木製巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	2.7		●		●			デスク、椅子
1	既存	昇降口	◆人造石研出(真鍮目地)(水勾 配付)	人造石研出	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラスチーン張り	2.7						★下足棚	
	改修後	防災備蓄倉庫	既存のまま	既存のまま	既存のまま	躯体現し	2.7						収納棚	
1	既存	保健室	◆ビニルアスベスト系タイル貼り	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラスチーン張り	3.0						★流し台、★浴槽、★黒板	
	改修後	フリールーム (校内教育支援教室)	複合フローリング	木製巾木	EP塗装	化粧石膏ボード	3.0	○	●	●	●		戸棚、下足棚、ロッカー	デスク、椅子、テーブル、机、可動 WB、スツール、キャビネット、パー テーション
1	既存	器具庫	◆モルタル金ゴテ(目地切)(水 勾配付)	モルタル金ゴテ	合板型枠打放補修	合板型枠打放補修	3.0							
	改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま								
1	既存	廊下	◆ビニルアスベスト系タイル貼り	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラスチーン張り	2.7			●			★下足棚	掃除用具入
	改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま								
2	既存	家庭科室	◆リノリューム貼りt2 ^{m/m}	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラスチーン張り	3.0							
	改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま					●			
2	既存	家庭科準備室	リノリューム貼りt2 ^{m/m}	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラスチーン張り	3.0							
	改修後	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま								
2	既存	校長室	ビニルアスベスト系タイル貼り	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ビニルクロス貼	t9プラスチーン張り	3.0							
	改修後	児童会室	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	3.0	○	●		●		★収納、★掃除用具入、★WB	
2	既存	職員室	ビニルアスベスト系タイル貼り	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラスチーン張り	3.0							
	改修後	国際教室	複合フローリング	木製巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	3.0	○	●	●	●		戸棚、窓下収納収納	テーブル、椅子、教卓

※全室共通:LED照明化による天井の部分改修あり ◆アスベストレベル3含有 ★撤去

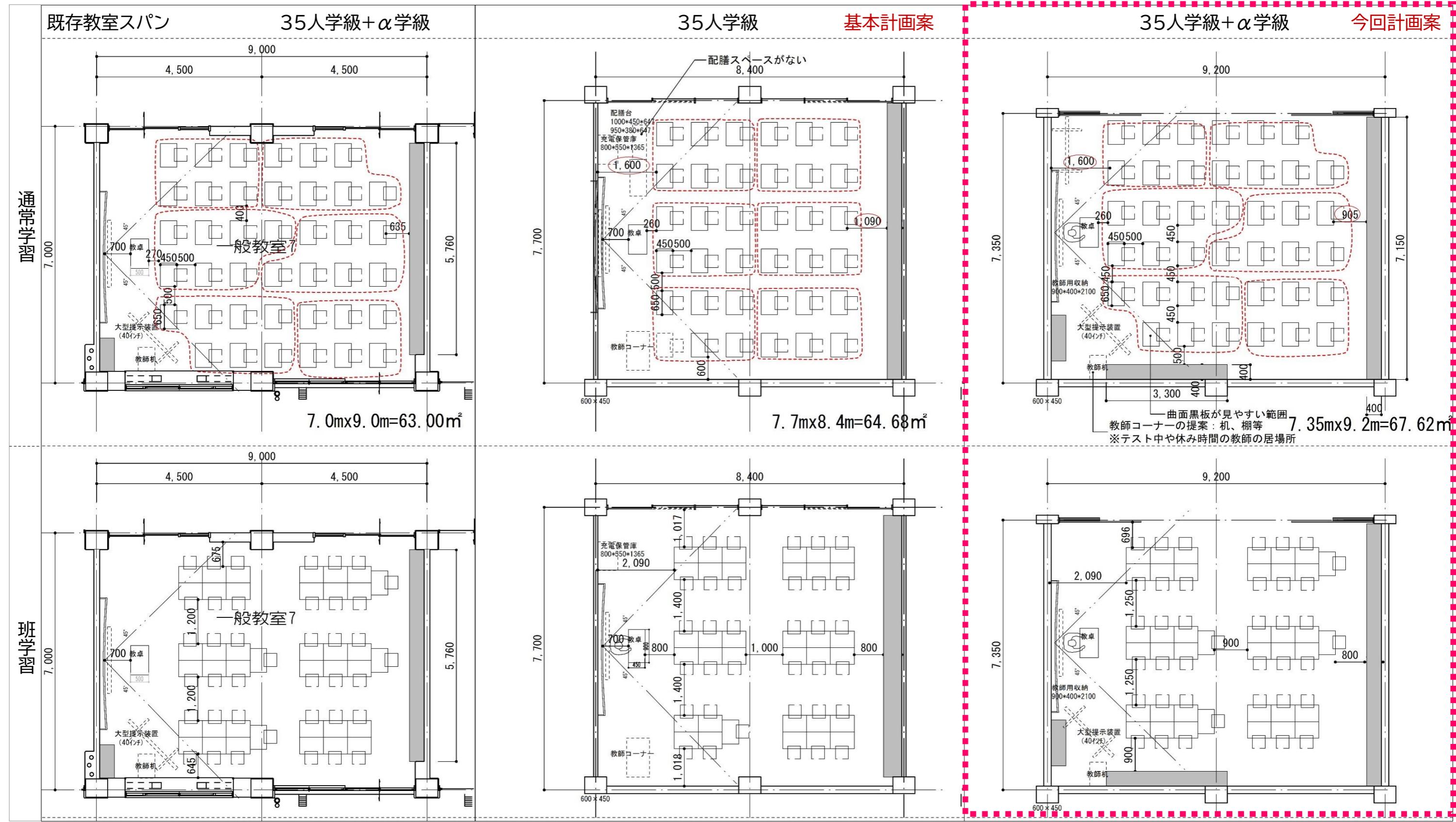
2-(5)仕上計画 内部仕上表一既存校舎

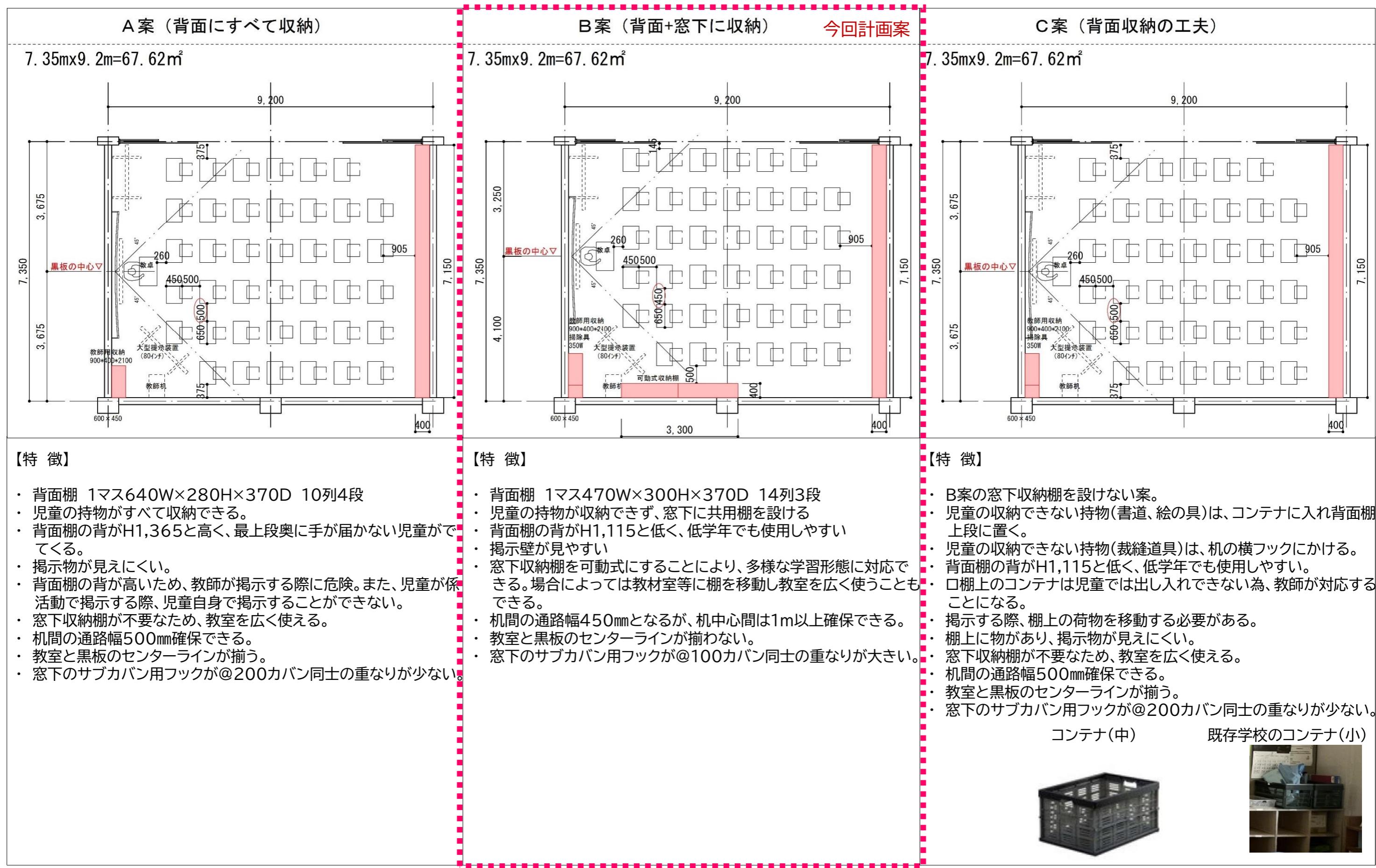
階	既存室名 改修室名	床	巾木	壁 ※LGS下地は全てスラブまで	天井	天井高	黒板● 白板○	掲示板	掃除用 具入	教師棚	カーテンレール 共	家具	備品・設備
2	既存 職員室	◆ビニルアスベスト系タイル貼り	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラスチーン張り	3.0						★窓下収納、★黒板	
	改修後 少人数教室2	複合フローリング	木製巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	3.0	○	●	●	●	●	教師用戸棚、掃除用具入	机、椅子、デスク、教卓、配膳台
2	既存 玄関	テラゾーブロック	テラゾーブロック	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラスチーン張り	2.7							受付台、展示ケース
	改修後 既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま							シューズボックス	傘立
2	既存 更衣室	◆ビニルアスベスト系タイル貼り	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラスチーン張り	3.0							
	改修後 教育相談室	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	3.0							テーブル、チェア、可動スクリーン
2	既存 会議室	ブナフローリングブロック	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラスチーン張り	3.0						★掃除用具入、★黒板	
	改修後 リソースルーム	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	3.0	○	●	●	●	●	窓下収納、ロッカー	テーブル、椅子、教卓、机、バー、ーション、可動WB
2	既存 湯沸室	◆ビニルアスベスト系タイル貼り	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラスチーン張り	3.0							
	改修後 倉庫	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま							収納棚	
2	既存 印刷室	◆ビニルアスベスト系タイル貼り	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラスチーン張り	3.0							
	改修後 既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま								
3	既存 図書室	◆ビニルアスベスト系タイル貼り	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラスチーン張り	3.0						★掃除用具入、★展示棚	
	改修後 音楽室	複合フローリング	木製巾木	EP塗装	化粧吸音石膏ボード	3.0	●	●	●	●	●	戸棚	
3	既存 第二図書室	◆ビニルアスベスト系タイル貼り	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラスチーン張り	3.0							
	改修後 音楽準備室	上がり撤去の上ビニル床タイル	ビニル巾木	既存のまま	既存のまま	3.0						収納棚	デスク、椅子
3	既存 第二理科室	◆ビニルアスベスト系タイル貼り	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラスチーン張り	2.7							
	改修後 既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま								
3	既存 理科準備室	◆ビニルアスベスト系タイル貼り	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラスチーン張り	3.0							
	改修後 既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま								
3	既存 第一理科室	◆ビニルアスベスト系タイル貼り	ソフト巾木H75	合板型枠打放補修ラフトンデラックス吹付	t9プラスチーン張り	3.0						★黒板、★実験台、★収納、★掃除用具入、★流し台	
	改修後 学校防災倉庫	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま	既存のまま						収納ラック	

※全室共通:LED照明化による天井の部分改修あり ◆アスベストレベル3含有 ★撤去

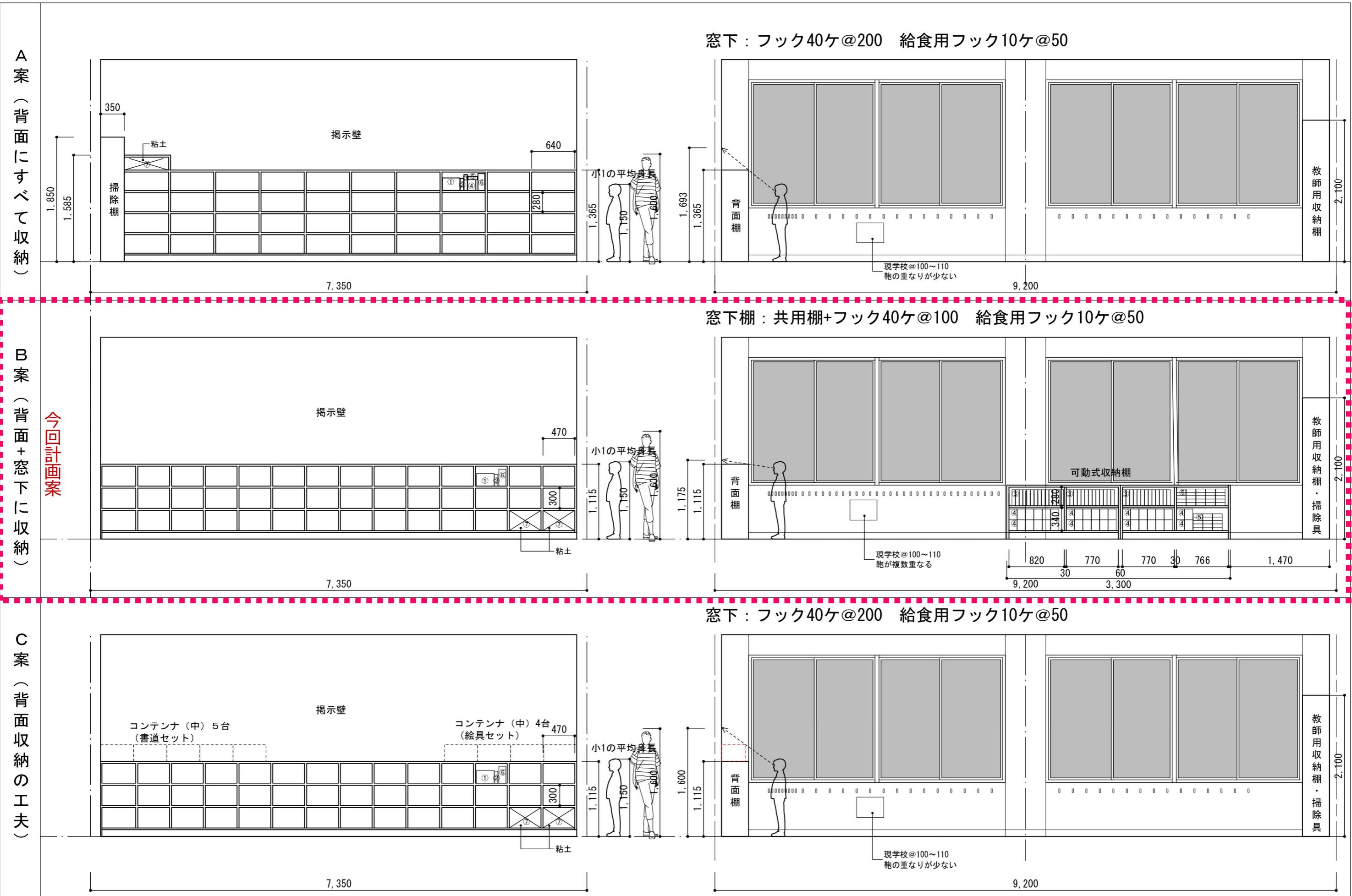
2-(6)普通教室の広さと設え(1)

- 学級編成の標準(1学級の児童数)35人に加え、特別支援学級在籍児童(5人程度)が通常学級において交流及び共同学習することを考慮し、普通教室の収容人員は40人でスパン(広さ)の検討を行います。
- 既存の教室スパンは7,000mm×9,000mmで机間幅が400mm、後部席と背面棚間も635mmと狭く、教室内が煩雑としています。
- 基本計画の教室スパンは7,700×8,400mmですが、収容人員を35人学級で計画している為、スペースが不足します。
- 机間は450mm、最後部と背面棚間は児童が着席しても荷物の出し入れが出来る905mmを確保し、過剰にならず必要な普通教室のスパンを7,350mm×9,200mmとします。





2-(6)普通教室の広さと設え(3)



2-(6)普通教室の広さと設え(4)

既存教室の収納棚は背面棚のみで児童の荷物が納まりきれず、教材室や廊下に私物があふれ、管理が行き届いていない状況です。そこで、児童の持物を調査し、収納棚の検討を行います。

- ・児童の持物は①～⑨まですべてを背面棚に収納すると、背面棚が高くなり低学年の利用が難しく、掲示板も使いづらくなる。【A案】
- ・利用頻度の高い持物を背面棚に収納し、頻度の少ないものを窓下の棚に収納すると、背面棚の高さも抑え、児童が整理整頓することができ、教室内の学習環境が整備できる。【B案】
- ・背面棚の高さを抑え、収納しきれないものはコンテナを使用すると、掲示物の邪魔になり、管理は教員が行わないといけない。【C案】

教員にヒアリングを行い複数案の検討より、B案の背面棚と窓下に可動棚とフックを設け、前面には教師用棚と掃除具棚を計画します。

窓下の可動棚は授業の形態によっては廊下へ移動したりできるようキャスター付きとするが、通常時転倒の恐れがないようストップバーを設けるなどの配慮をします。

①ランドセル260*191*323



②鍵盤ハーモニカ500*180*50



③書道セット360*240*50



④絵の具セット330*160*119



⑤裁縫セット235*140*50



⑥教科書ボックス



⑦粘土セット



⑧給食袋



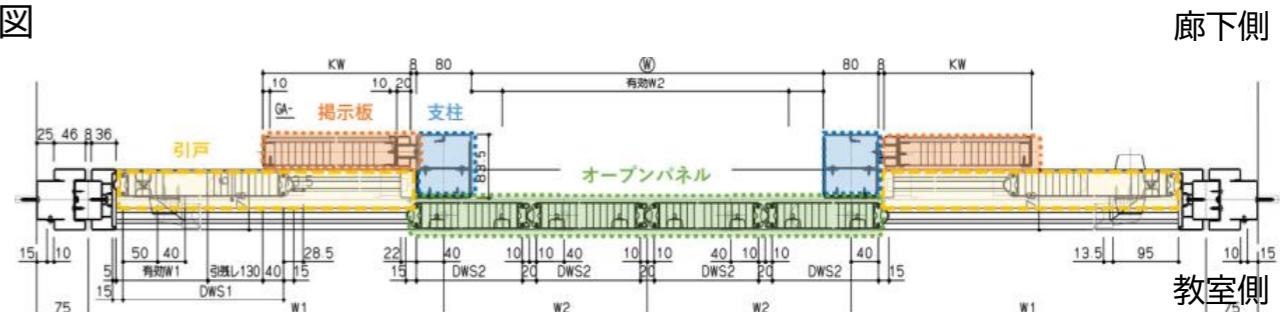
⑨サブカバン



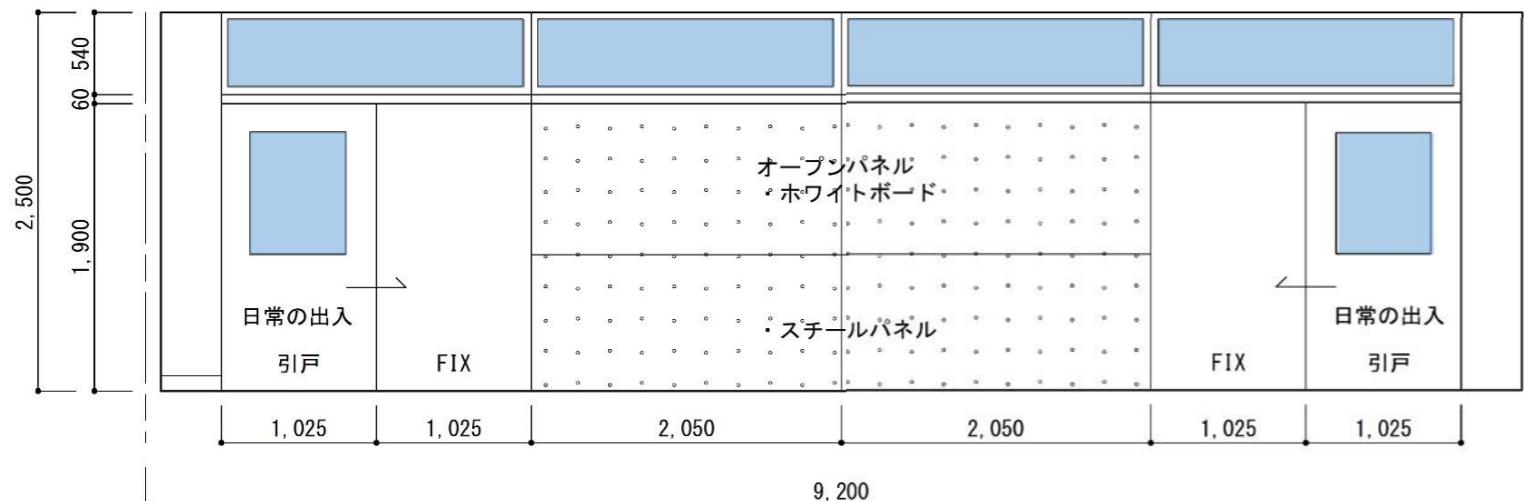
2-(6)普通教室の広さと設え(5)

- CRと廊下の間仕切りはスクールパーテーションとし、通常出入口の他、廊下と一体利用ができる様、大きな開口が可能な計画とします。
- オープンパネル部の教室側は上部がホワイトボード仕様とし、板書やマグネットによる掲示が出来、腰部は机が当たることを想定しスチールパネル仕様とします。
- 扉は吊り戸とし床にレールを設けないため、清掃性が高く、教室と廊下の境目がない計画とします。

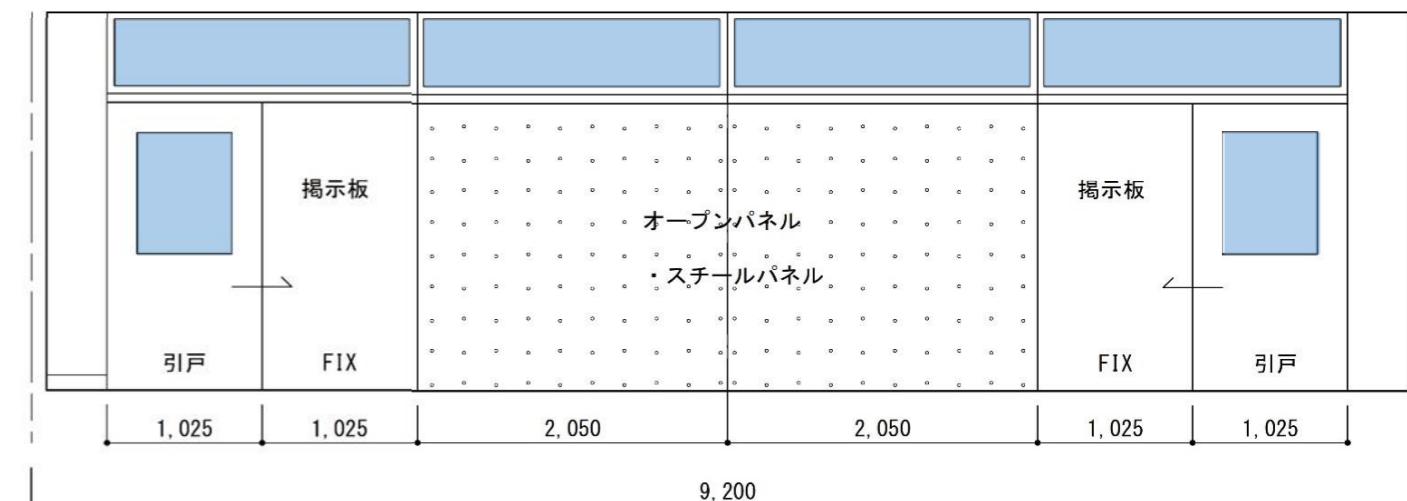
平面図



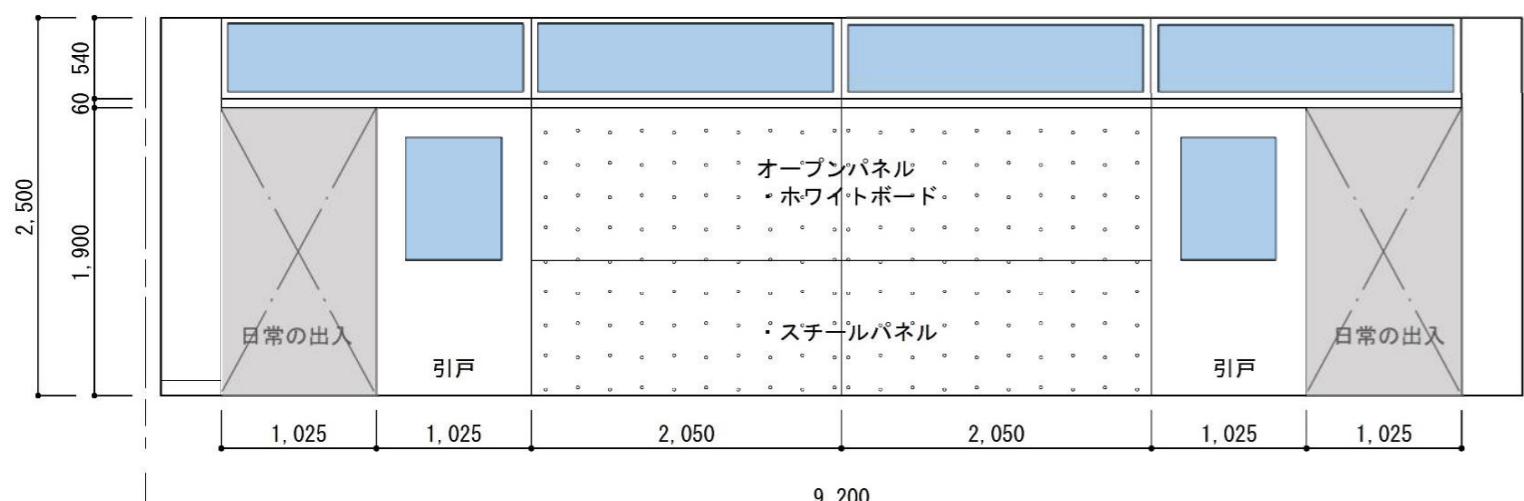
教室側



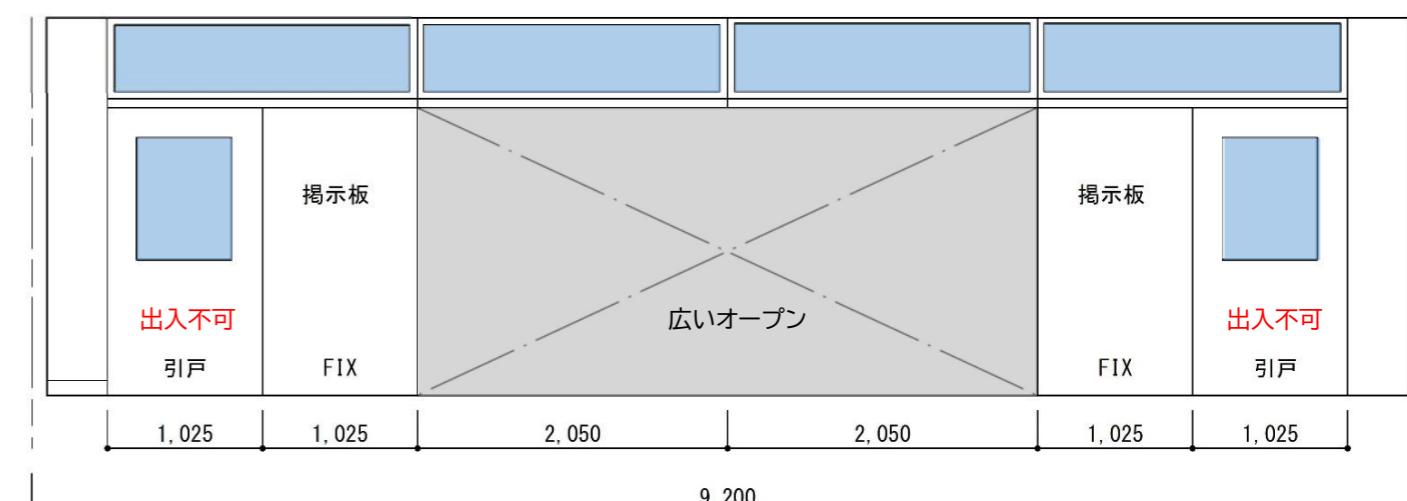
廊下側



日常の出入(教室側)



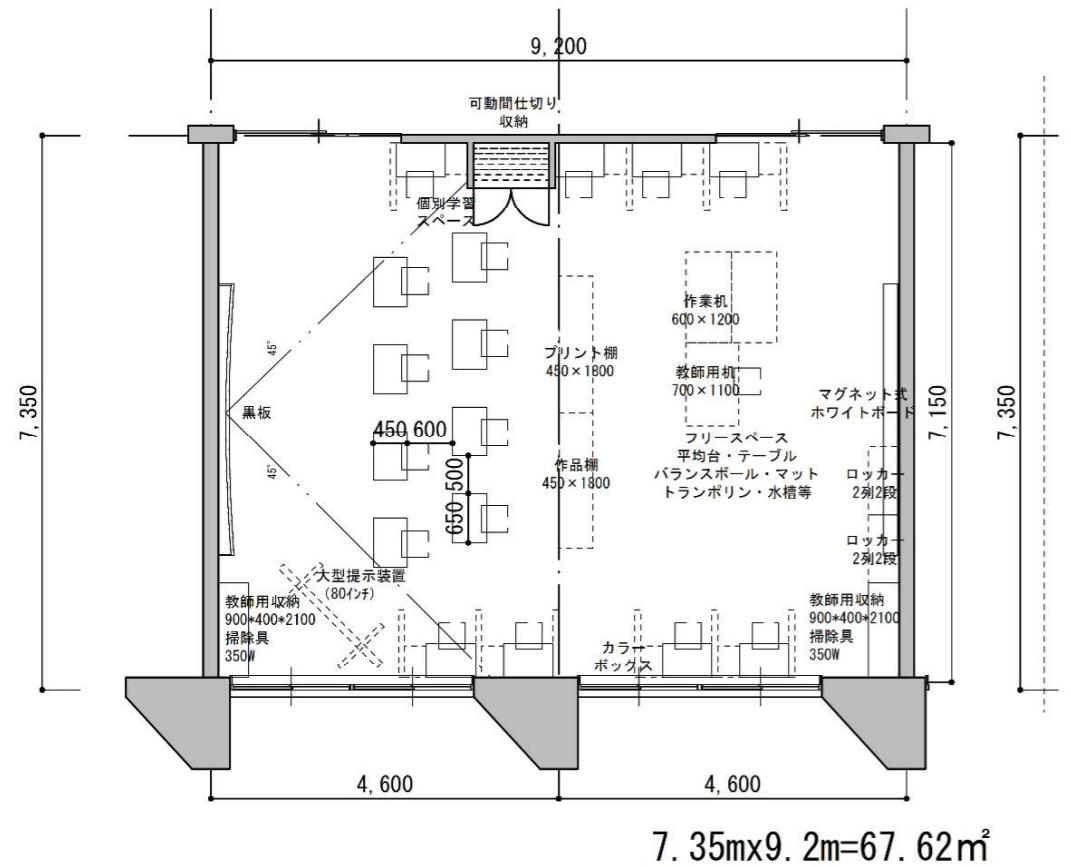
広くオープンとし廊下と一体利用(廊下側)



2-(7)特別支援学級・少人数教室のレイアウト

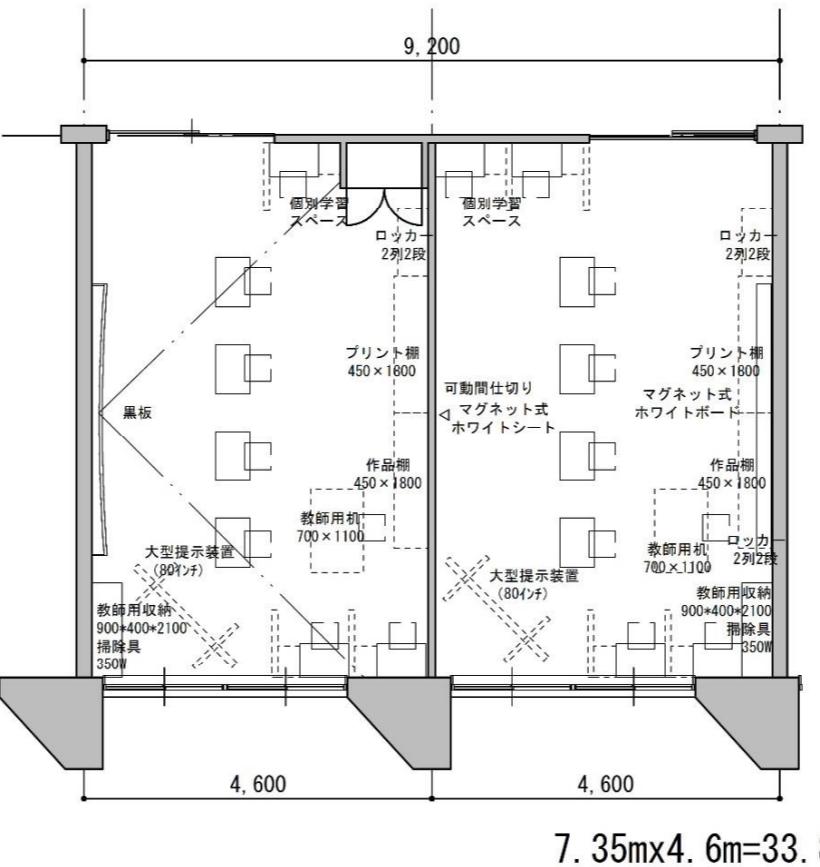
■ 特別支援学級1コマ利用時

- 可動間仕切を設け、児童の特徴に合わせてフレキシブルに対応できる計画とします。
- 可動間仕切り収納戸袋付とします。
- ロッカーは備品にて2列2段を2か所設けます。
- 教師用収納+掃除具棚は2セット設けます。



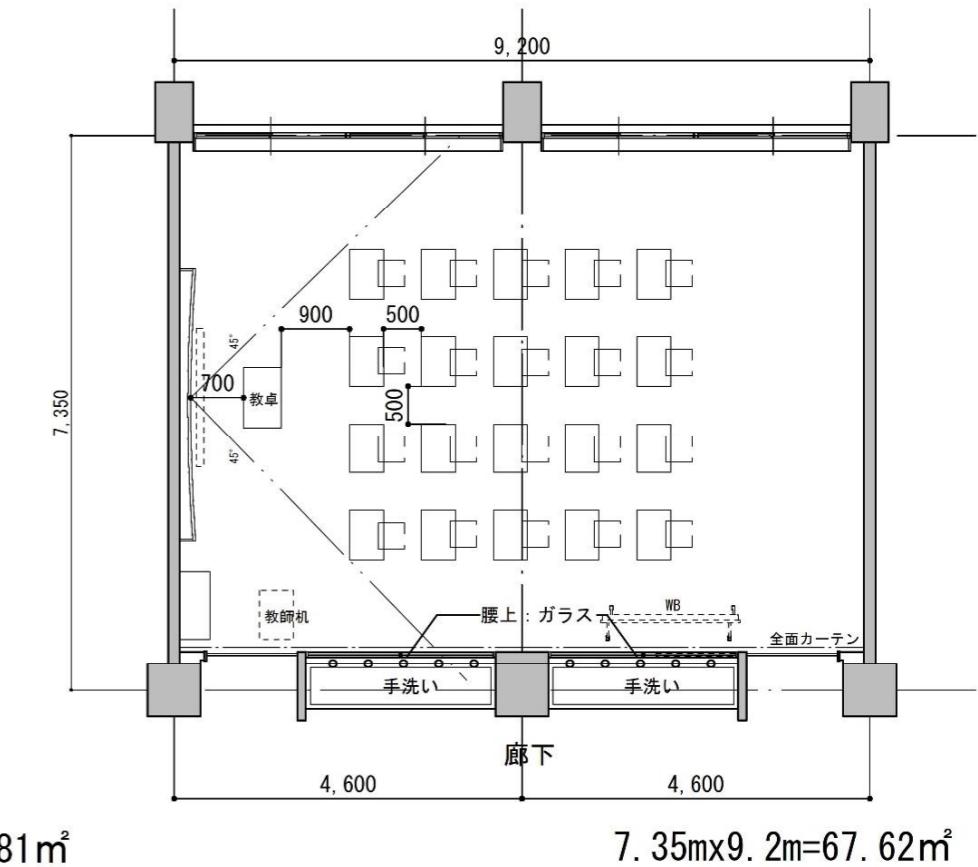
■ 特別支援学級0.5コマ利用時

- 可動間仕切により、0.5コマの落ち着いた教室を設ける事ができます。
- 0.5コマのレイアウトを前提に、電気設備・機械設備を計画します。
- 黒板はマグネット式ホワイトシートを可動間仕切りに貼る事で対応します。



■ 少人数教室(児童更衣室)

- 必要な時にすぐに少人数指導が行えるよう、CRの近くに配置します。
- 習熟度に応じた学習、グループ学習など、20人がまとまりをもって体験的な学習ができる計画とします。
- 教室の出入口にはカーテンを設置し、女子児童の更衣室として利用する計画とします。



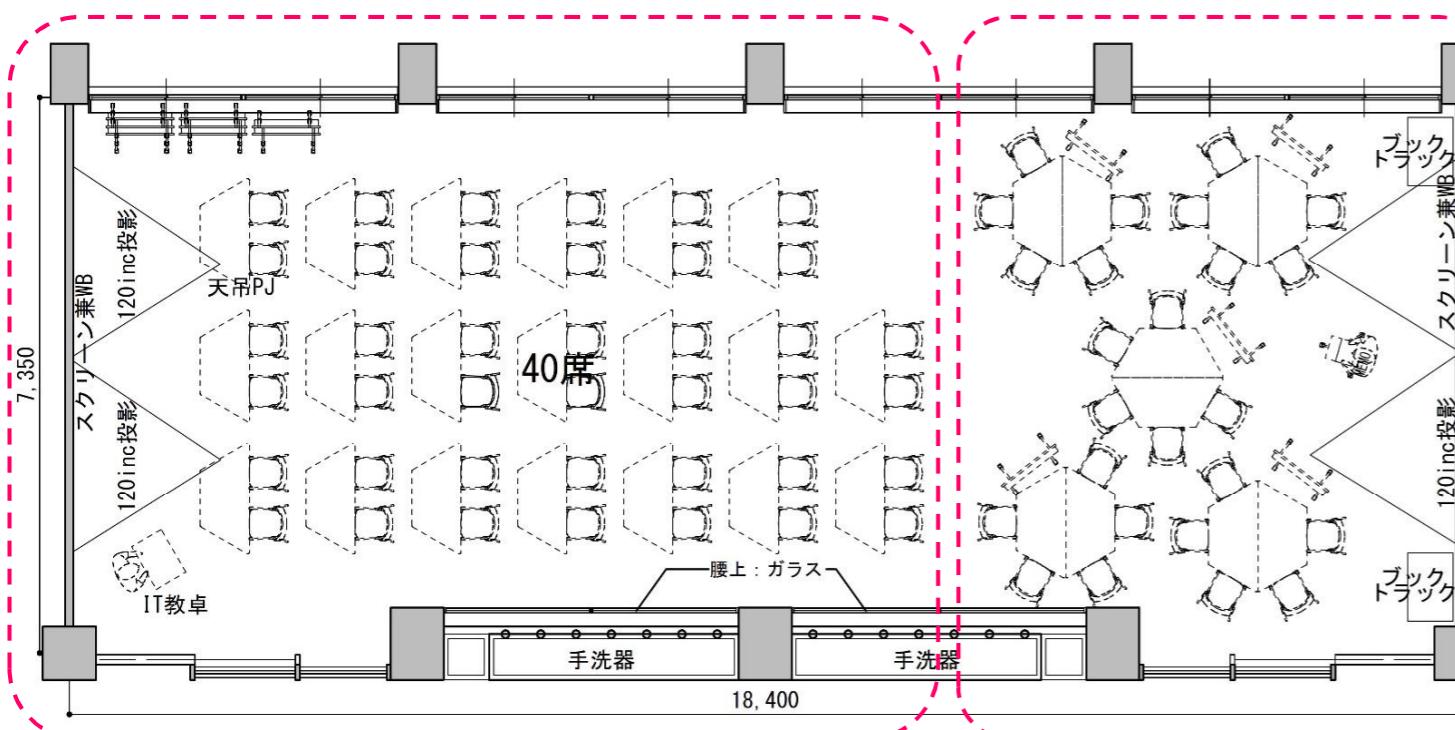
2-(8)多目的ルームレイアウト

- 多目的ルームは、総合的な学習や調べ学習、習熟度別学習など多様なスタイルで学習が行えるよう机は台形型として計画します。
- 机、イスは可動式でスタッキングできる物とし、学年集会が行えるスペースを確保します。
- 教室前後の壁一面にスクリーン兼ホワイトボードを設け、壁一面を電子黒板やホワイトボードとして使用し、グループワークなどの授業をより自由に行うことができる設えとします。
- 「板書」と「映像」を一体化でき、新しい授業形態をバックアップできるICT環境を整備します。
- 児童が学習教材をより身近に利用できるように図書コーナーを多目的ルームやDENなどに分散して配置できる可動のブックトラックを整備します。

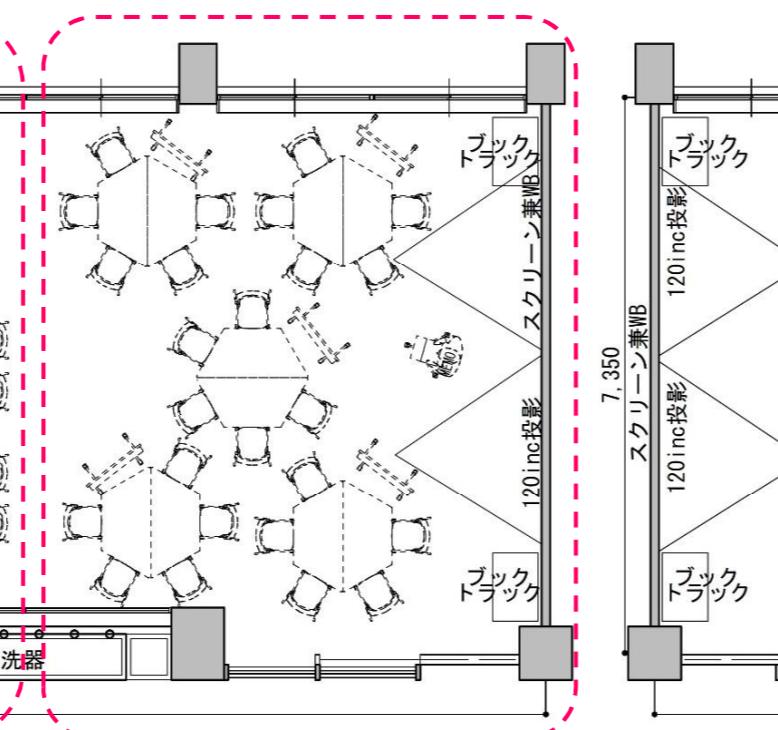


■ スクリーン兼WBのイメージ

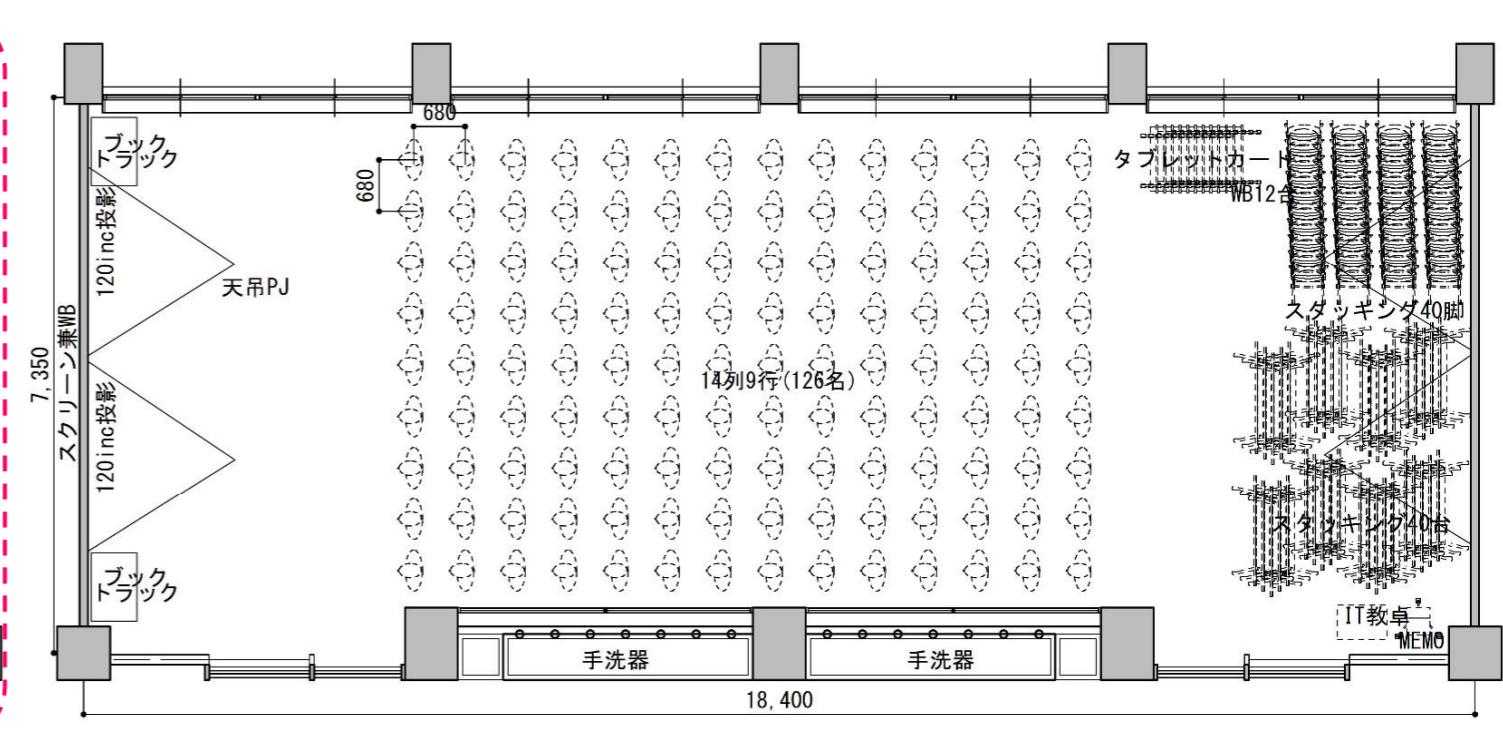
■ 一斉授業のレイアウト



■ グループワークのレイアウト



■ 全てスタッキングした場合のレイアウト



■ 一斉授業のイメージ



■ グループワークのイメージ

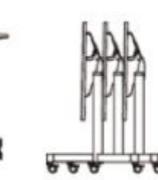


■ 台形テーブルのイメージ



台形テーブル

フラップタイプの台形テーブルは、様々なレイアウトに対応し、使用しない場合はフラップ・スタッキングして教室を広く使用することができます



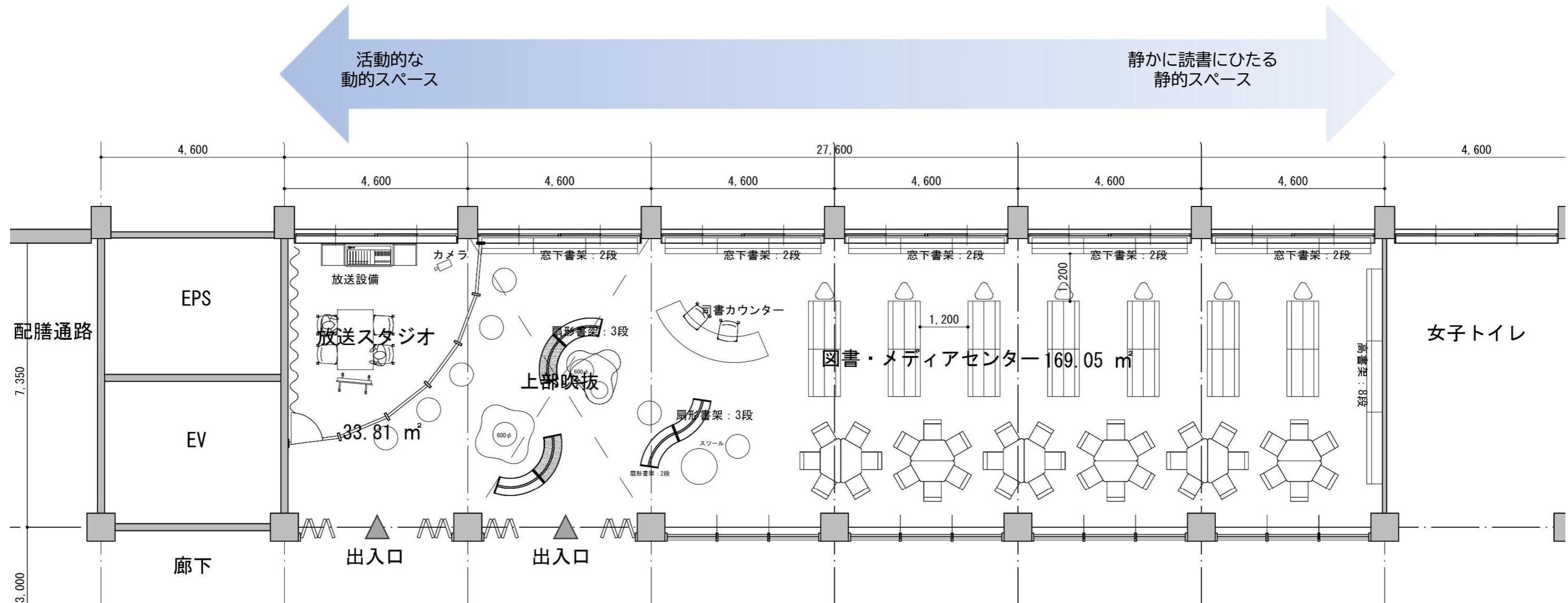
■ ブックトラック



(使用例)

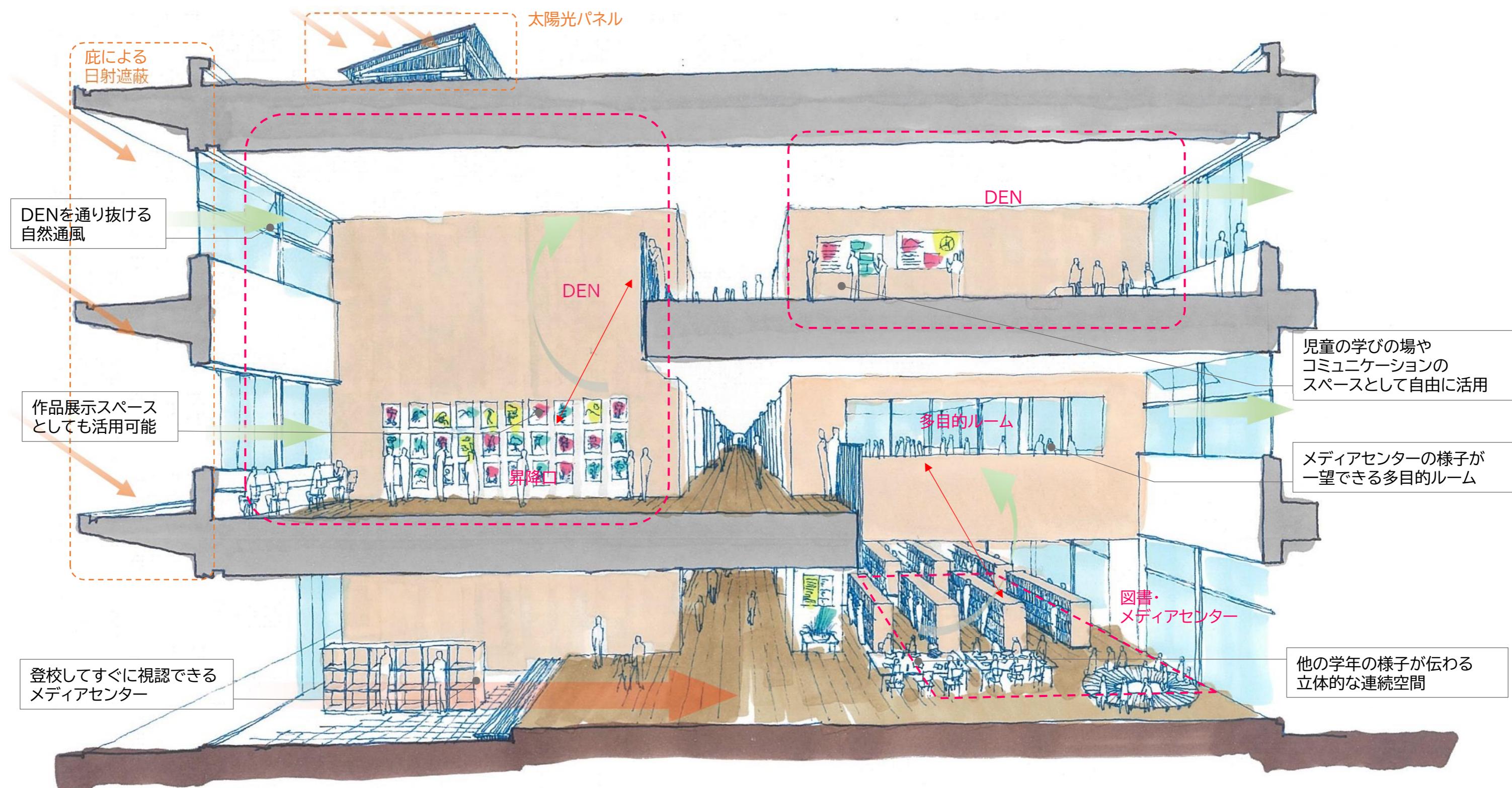
2-(9)図書・メディアセンターレイアウト

- 図書室と放送スタジオを一体的にまとめ、誰もが利用しやすい昇降口の正面に配置します。
- 児童が主体的かつ能動的に本や情報に触れることができ、いつでも学べる環境を整備します。
- 放送スタジオ側は動的学びのスペースと位置づけ、吹抜けのある開放的な空間とし、奥に行くほど静かに読書ができる静的学びのスペースとして計画します。
- 動的学びのスペースでは、スタジオを使っての読み聞かせや発表などの活動を行うことができます。
- 現学校の蔵書数は10,536冊あり、本計画では10,600冊以上を蔵書できる本棚を計画します。



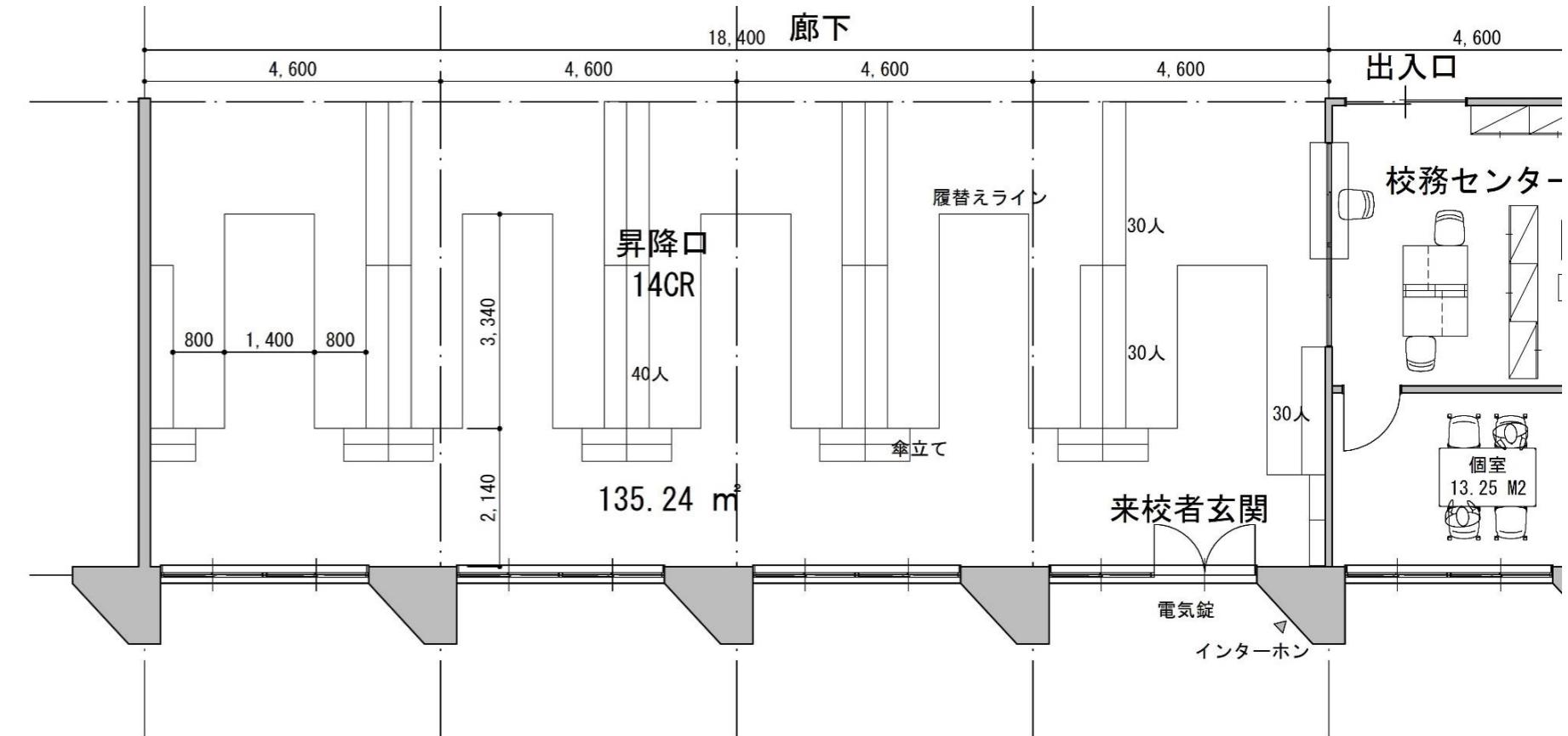
2-(10)DENと吹抜

- ・校舎を貫通するようにDENや吹抜を設け、自然採光や通風を確保します。
 - ・吹抜がステップ状に連続することで、児童の賑わいや活動の様子が伝わる有機的な学びの空間を形成します。



■ 昇降口レイアウト

- 40人分の下足入れを14クラス分設け、履替えラインを十分に確保することで、児童の混雑を避ける計画とします。
 - 来校者玄関は校務センター側とし、職員併せて90人分収納可能な計画とします。(要望:職員61人、来客25人)
 - 来校者玄関は電気錠とし、インターホンにより校務センターで解錠し、セキュリティー管理を行います。
 - 校務センターから昇降口の様子が伺えるように、来校者用下足入れは高さを抑えた計画とします。



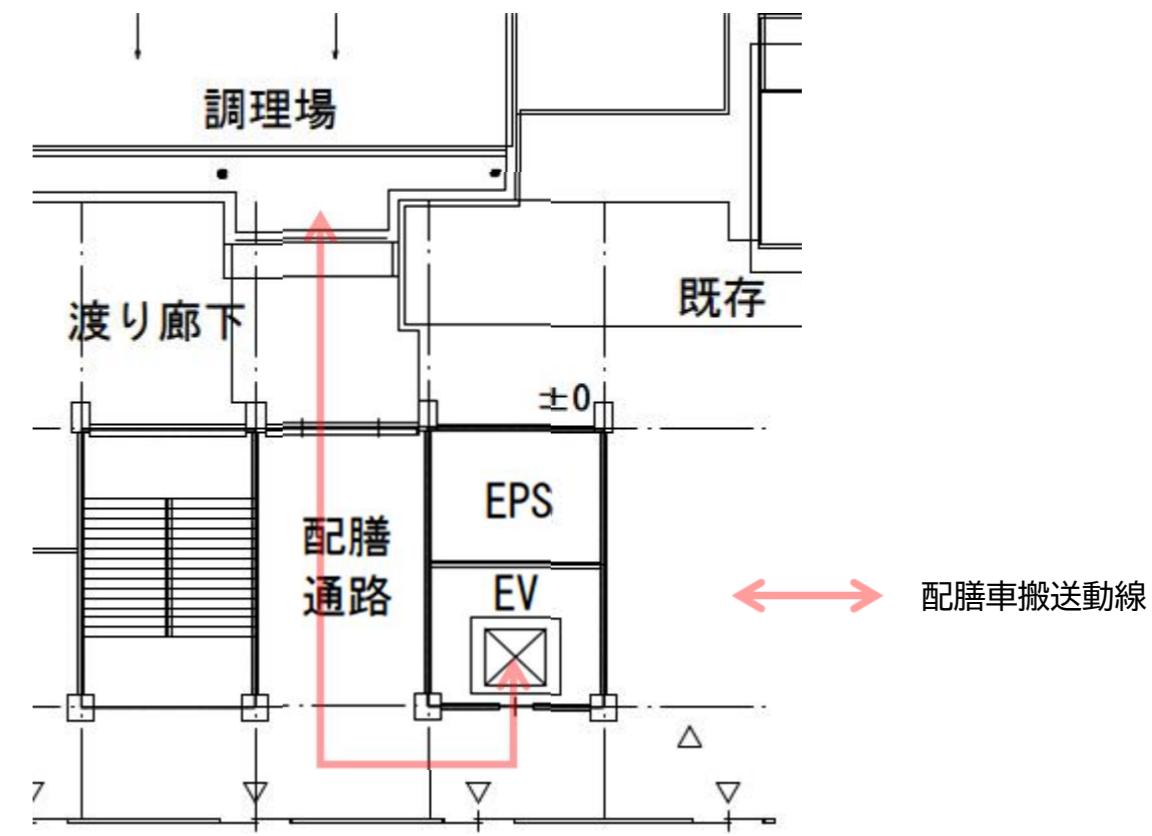
■ 配膳動線

- 既存調理場から最短でアプローチできる渡り廊下と配膳通路を設けます
 - 配膳通路に隣接してエレベータを設けます。

■ エレベーター計画

- ・車いす利用者等にも配慮したバリアフリー仕様とともに、給食配膳車の搬送も可能な乗用エレベータ(15人乗り)を設置します。

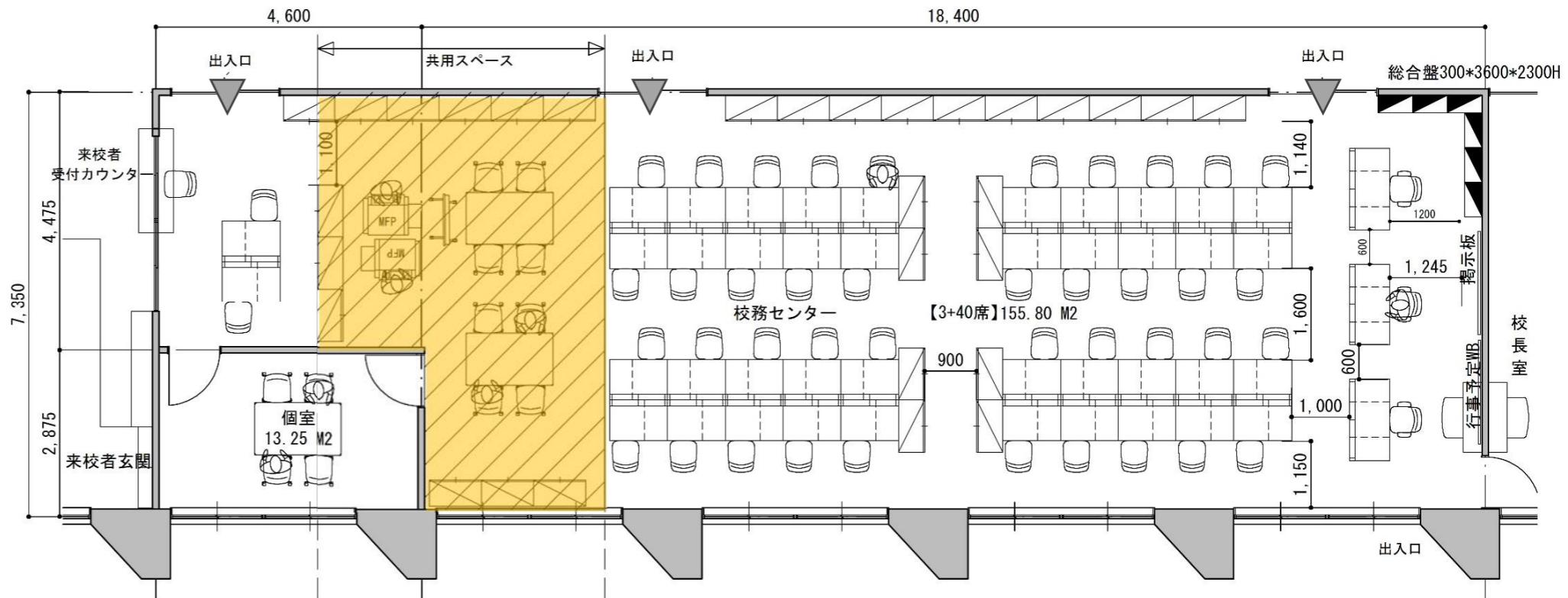
かごイメージ	定員/積載量	15人/1000kg
	カゴ内寸法(mm)	W1600xD1500
	出入口寸法(mm)	W900xH2100
	ドア開閉方式	2枚戸両引き
	車イス利用(車イス+介添者)	バリアフリー新法・みんなのバリアフリー 街づくり条例適合仕様



■ 1F配膳動線図 1/200

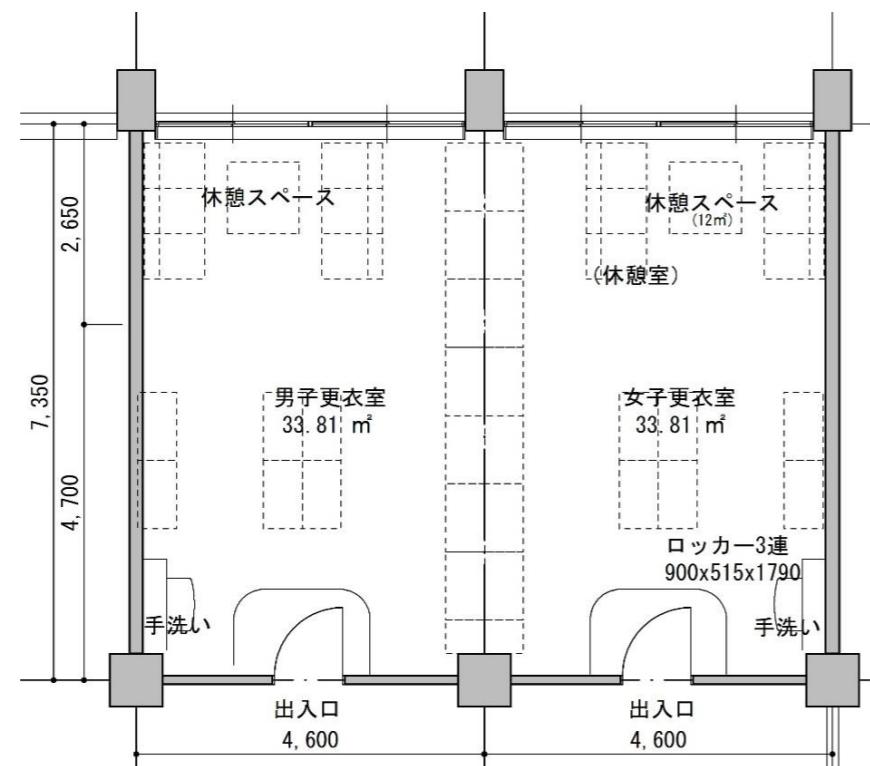
■ 校務センター

- 校務センターは事務室と職員室を一体に設け、教職員間の連携をスムーズにする計画とします。
- 事務エリアに2席、職員室エリアに40+3席のデスクが配置できる広さとします。
- 校門やグラウンドが見渡せる位置に配置し、グラウンドへの出入口を設けます。
- OAフロアとし将来フリーアドレスも可能な計画とします。
- 打合せや作業スペースを共用スペースに設け、働きやすい環境を整備します。
- 聞かれたくない会話をする際に使用できる個室を設け、個人情報に配慮した計画とします。



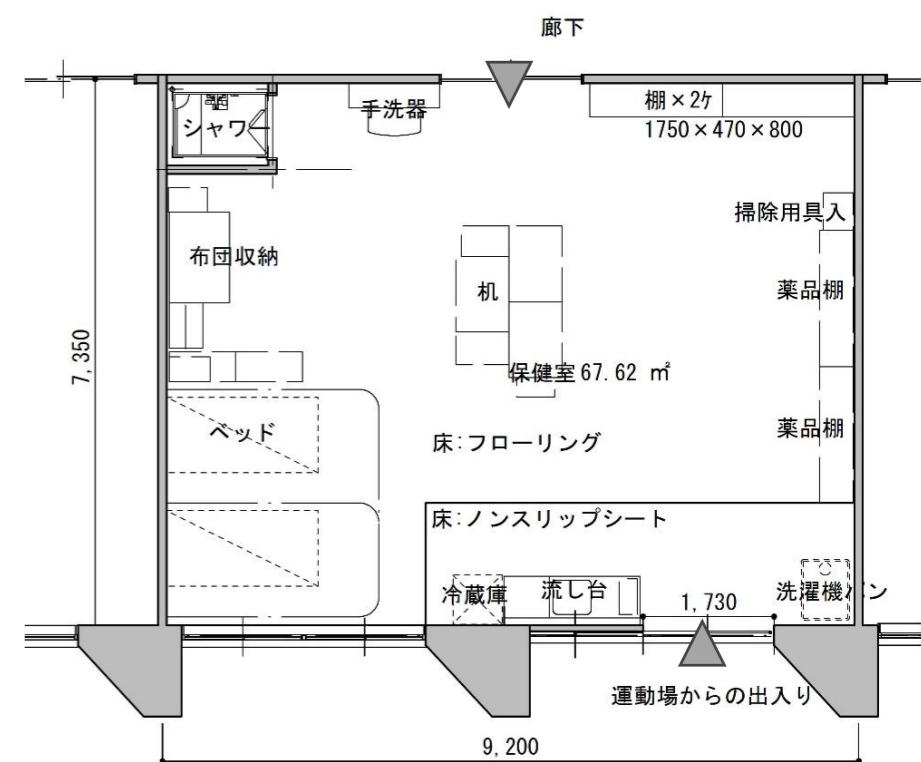
■ 職員更衣室

- 校務センターから近い位置に職員更衣室を配置します。
- 充分な職員数のロッカー男女各(3連ロッカー×13=39人分)を配置し、窓際には休憩スペースを設け、体調不良の際に横になれるスペースを確保します。
- 男女間はロッカーで仕切ることで、男女比に対応できる計画とします。



■ 保健室

- 昇降口に近く、運動場から直接アプローチでき、救急車が寄り付きやすい配置計画とします。
- 児童が使用するシャワーユニットを併設します。
- 内装は落着きのある雰囲気とし、床はフローリングとし、運動場側の水回りはノンスリップシートとします。



2-(13) WC.水廻り計画

■ 外観計画基本方針

- トイレは「神奈川県みんなのバリアフリー街づくり条例」に沿った計画とします。
- 1階にはLGBTQを考慮しただれでもトイレを計画します。
- トイレ出入口にベンチコーナーを設け、ゆとりのあるスペースとして計画します。

■ 衛生器具適正個数算定表

- 最大利用人数を各フロア40人×8クラス=320人(男子160人、女子160人)を想定し、新設校舎と既存東棟のトイレ合算数にて、器具算定の上限値であるレベル1以上のトイレを計画します。

依知南小学校 各階個数算定

	想定人数		レベル1
男性	160	大便器	3
		小便器	7
		洗面器	3
女性	160	大便器	7
		洗面器	5

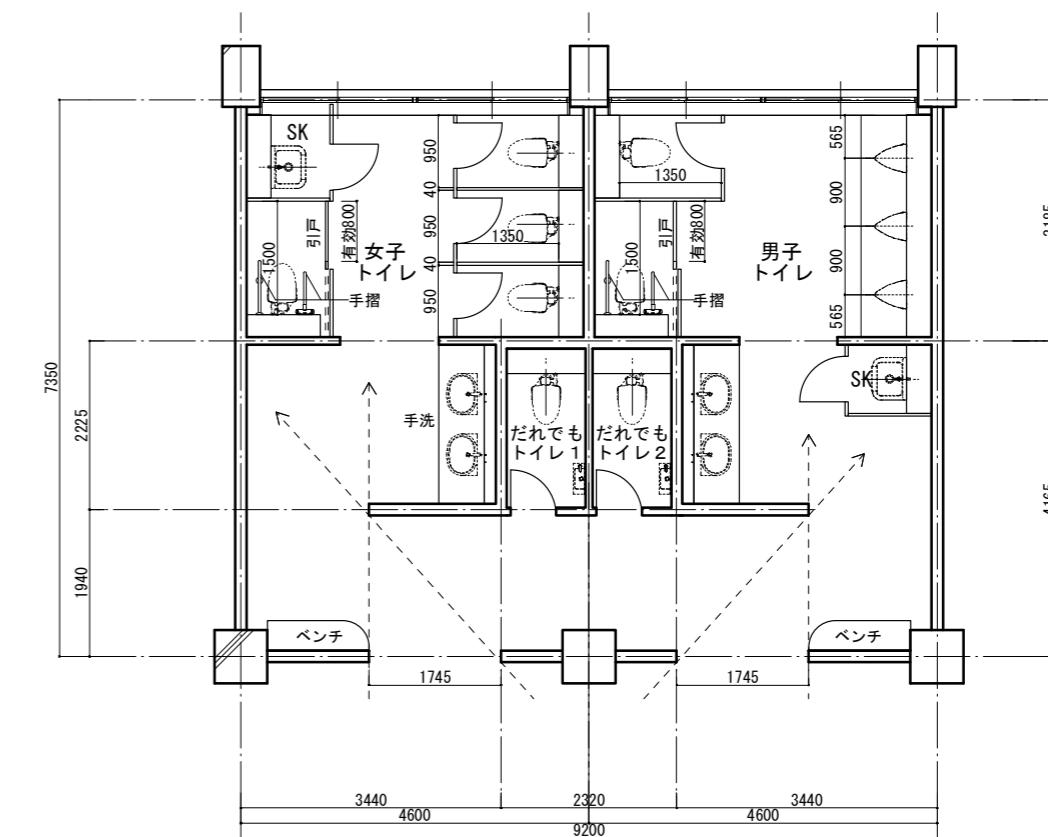
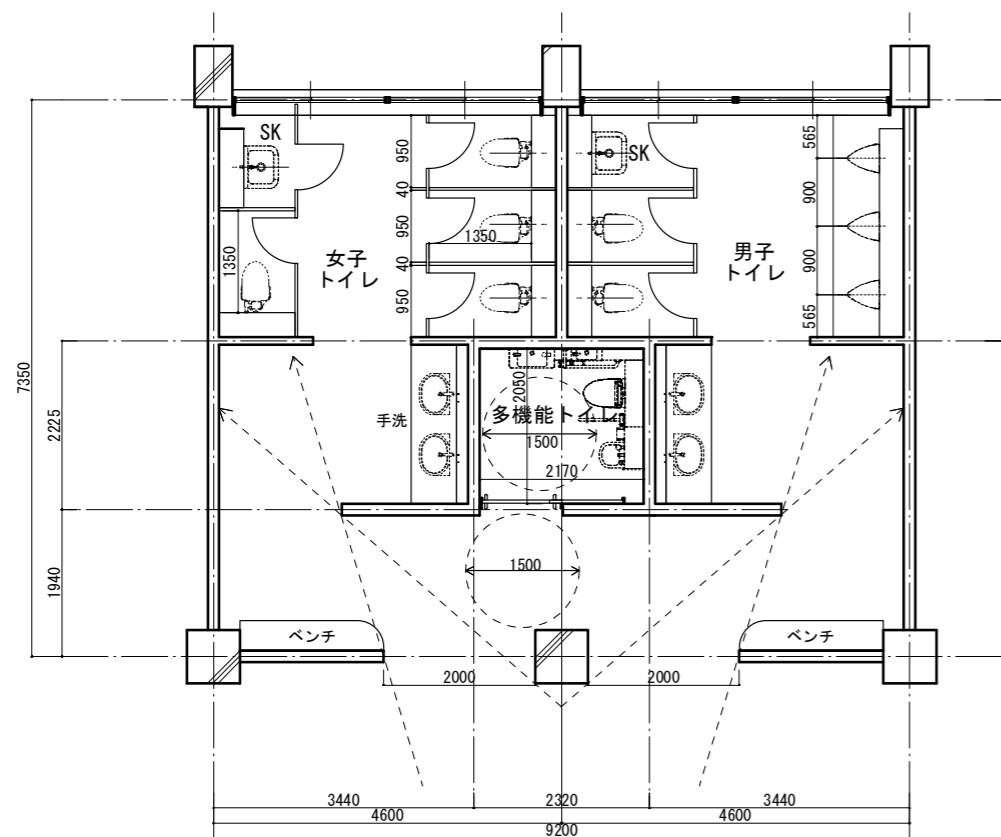
既存依知南 東棟

		図面より
男性	大便器	2
	小便器	3
	洗面器	2
女性	大便器	4
	洗面器	2
多機能トイレ		1

計画後の個数

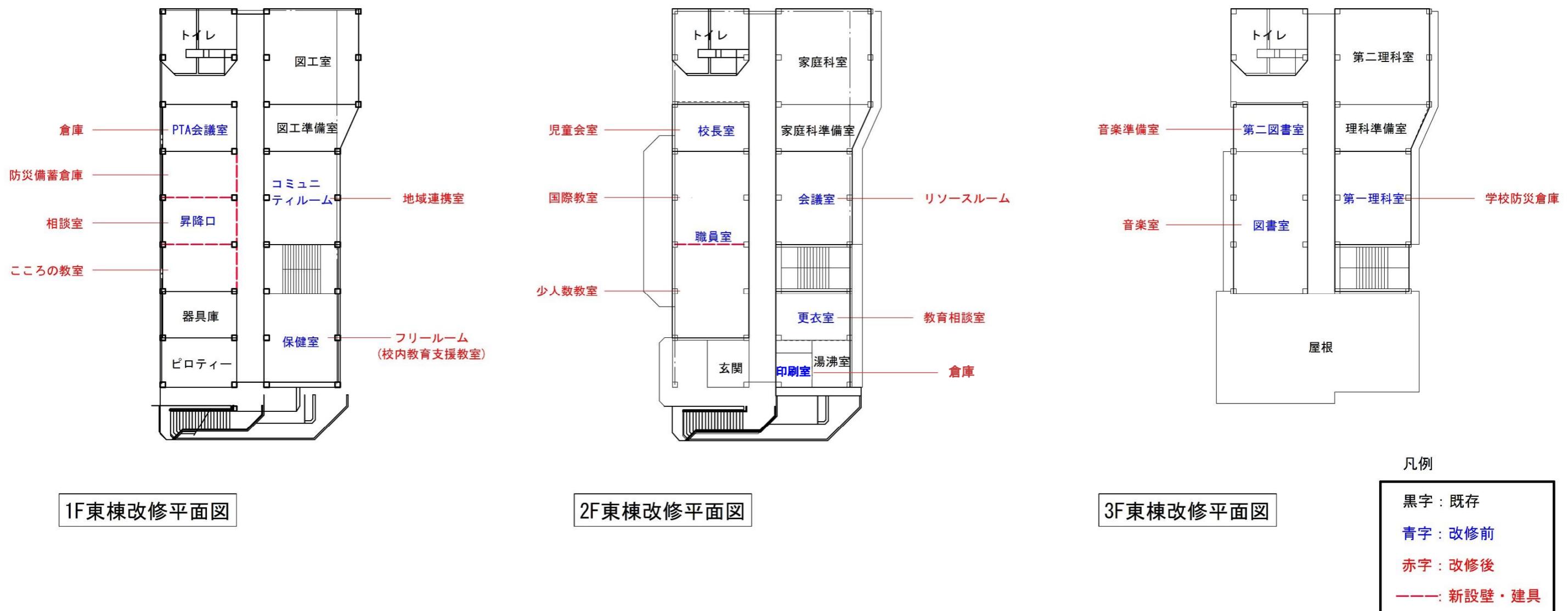
		レベル1	計画	東棟
男性	大便器	3	4	2
	小便器	7	6	3
	洗面器	3	4	2
女性	大便器	7	8	4
	洗面器	5	5	2
多機能トイレ		1		
だれでもトイレ		2		

※空気調和・衛生工学会「衛生器具の適正個数算定」より



■ 多機能トイレ

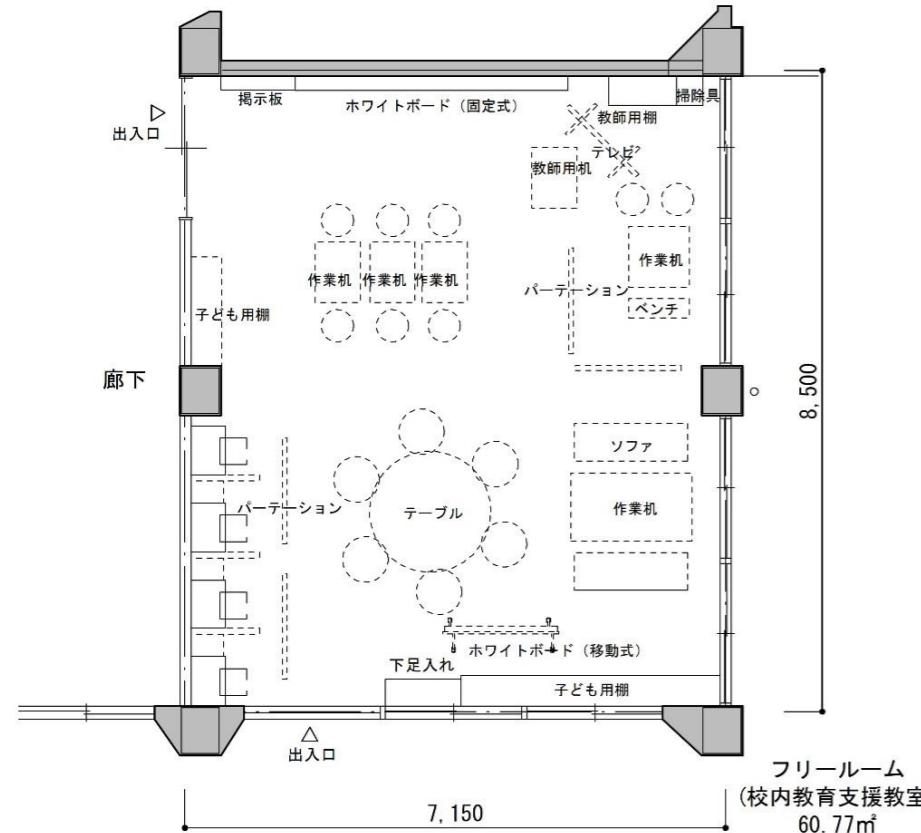
■ だれでもトイレ



2-(15)校内不登校支援レイアウト

■ フリールーム(校内教育支援教室)

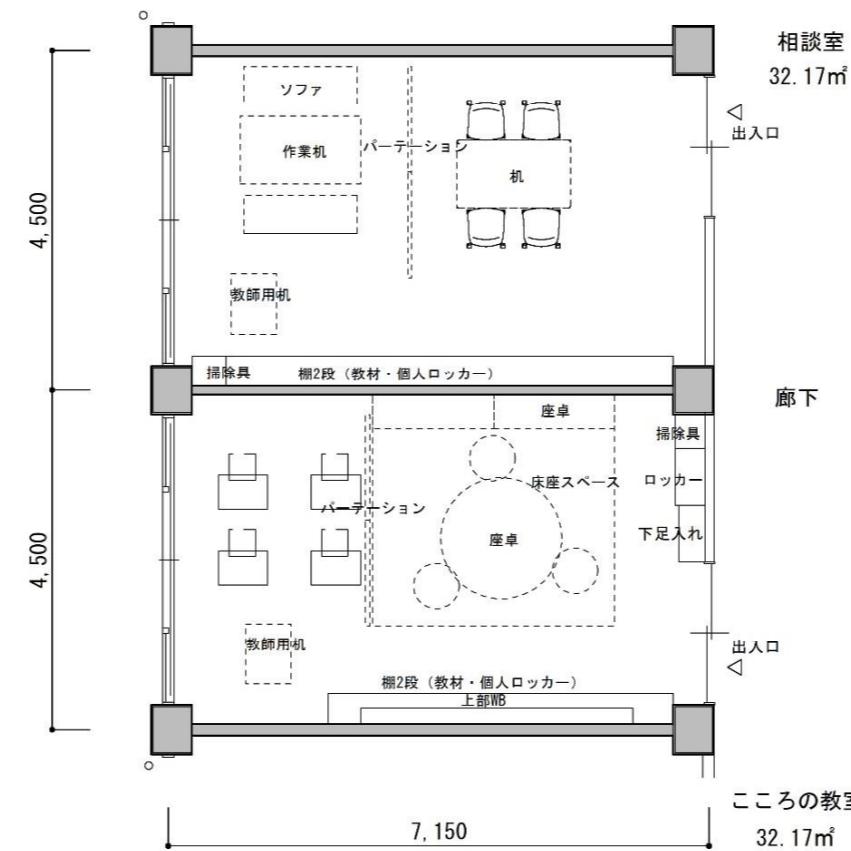
- ・不登校児童を支援するフリールーム(校内教育支援教室)を設ける計画とします。
- ・校内で他の児童との動線に考慮し、入室しやすい東棟1階に設け、外部出入口からも直接入室できる計画とします。
- ・個別学習や協働学習が可能で、CRとは違う雰囲気の設えとします。



東棟1階

■ こころの教室・相談室

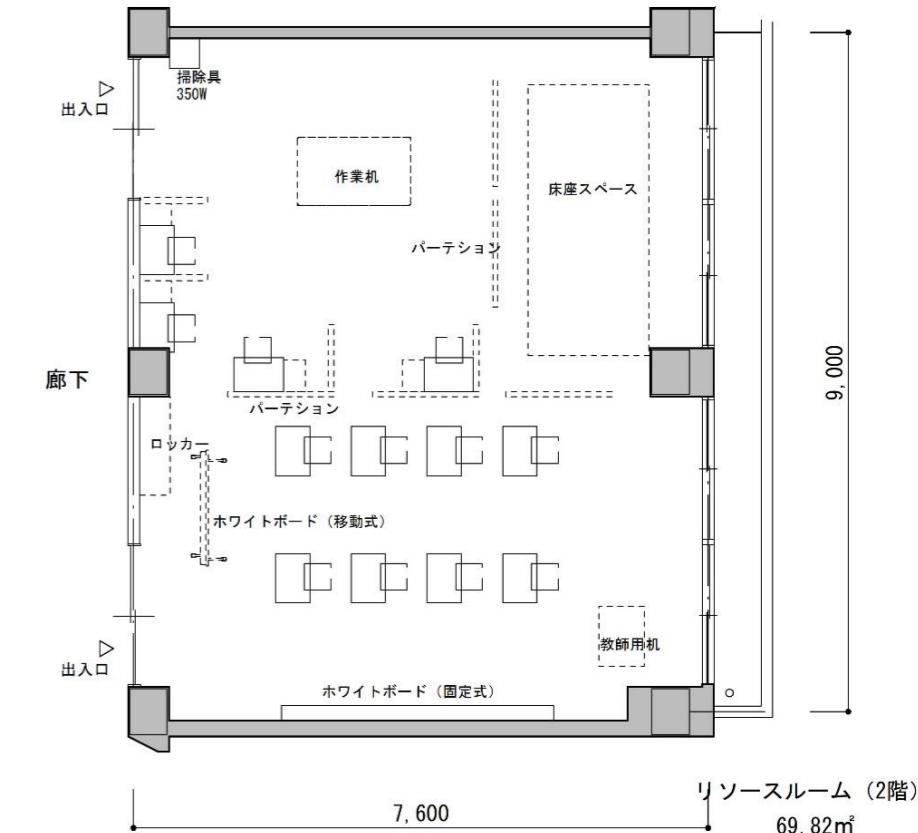
- ・児童の抱える悩みや不安に関する相談等を行うこころの教室・相談室を設ける計画とします。
- ・フリールーム(校内教育支援教室)の近くに配置する計画とします。



東棟1階

■ リソースルーム

- ・児童の個の特性に応じた学習支援等が行えるよう、リソースルームを整備します。
- ・CRとは違う設えとし、集団学習や作業、床座スペースや個別ブーススペース等、個々の状況に合わせて自由にレイアウトできる計画とします。



東棟2階

3-(1)外構計画

■ メインアプローチとなる仲よしの道

- 東側正門から昇降口を結ぶアプローチをインターロッキング舗装の「仲よしの道」として整備します。
- 仲よしの道は西門や児童クラブへとつながり、児童の毎日の主動線となります。
- 仲よしの道に連続して、長年児童に愛され続けている鯉の池や花壇を整備し、彩や学びのある道として計画します。
- インターロッキング舗装部は車が乗り入れても良い車道用の舗装とします。

■ 利便性を高め安全な駐車場

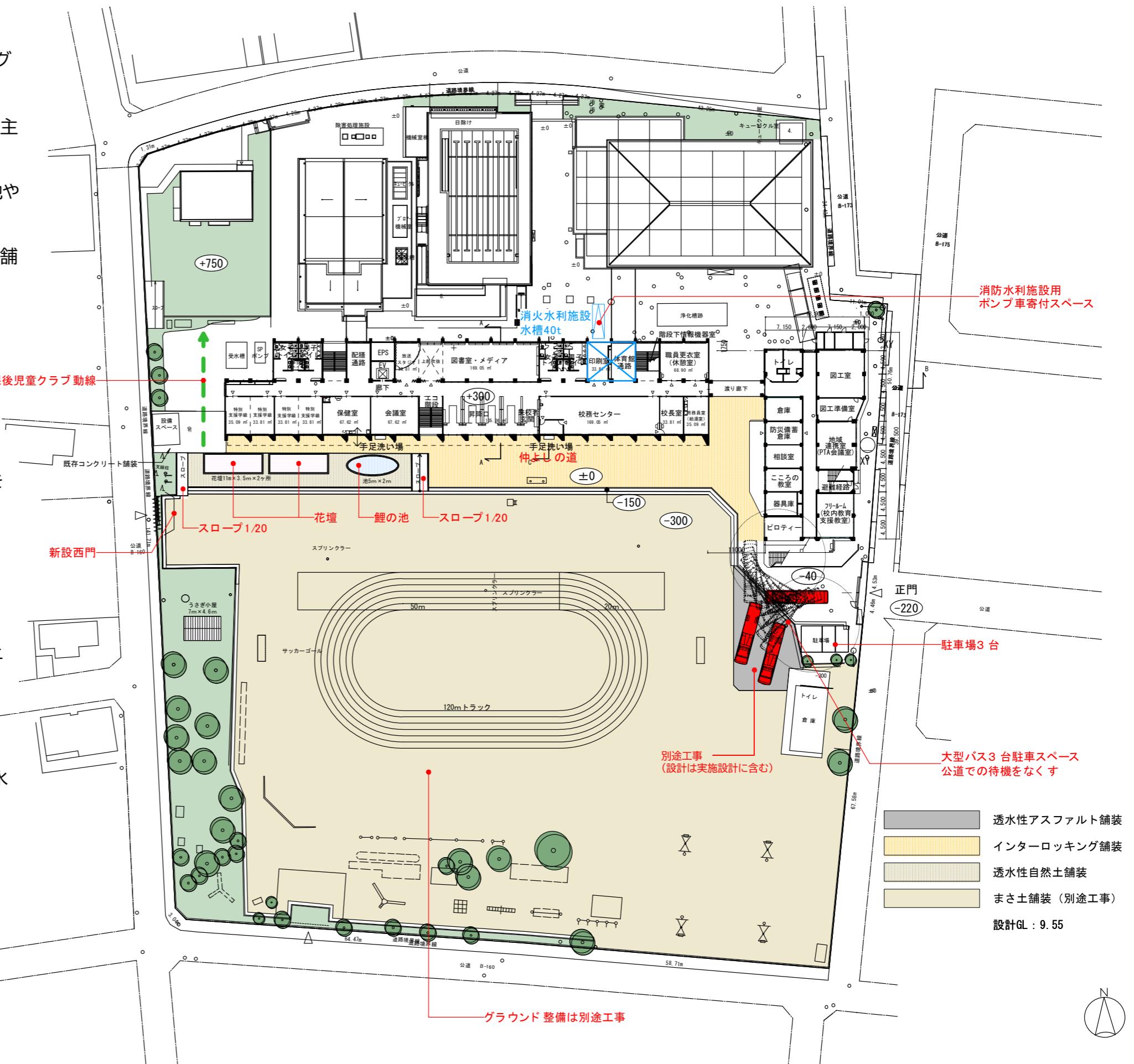
- 東側正門付近にある既存駐車場からアスファルト舗装範囲を拡充し、催事時の大型バス3台が安全に出入りできるスペースを確保します。

■ 緑化計画

- 「厚木市緑を豊かにする事業推進要綱」より敷地の10%以上を緑化する計画とし、緑の保全および緑化を図ります。

■ 排水施設計画

- 「厚木市雨水施設設置基準」より敷地内の排水について、雨水浸透植生や雨水浸透トレーニング、透水性舗装、地表面の緑地化など、雨水浸透施設計算(厚木市下水道総務課)における平均流出係数が0.5以下となる計画とします。



3-(2)地域交流、防災計画、セキュリティ計画

■地域交流

- ・地域連携室は夜間や土日祝日に地域開放でき、地域と学校の連携・協働の拠点として計画します。
- ・東棟1階トイレは地域連携室利用者やイベント時に利用できるトイレとして整備します。

■防災計画

- ・新校舎には普通教室や管理諸室を中心に配置し、東棟には特別教室、地域連携室やフリールーム(校内教育支援教室)などを配置し、災害時は体育館と東棟を避難施設として開放し、新校舎は学校として早期に使用できる計画とします。
- ・防災備蓄倉庫は、東棟の1階に設置し、外部から出し入れが出来る計画とします。

■セキュリティ計画

- ・地域連携室から上階へ行けないよう、手動リングシャッターによりセキュリティ区画します。また地域開放する地域連携室やトイレ利用者の玄関は渡り廊下側に限定します。
- ・来校者玄関は電気錠とし、インターホンにより管理します。
- ・正門は電気錠とインターホンにより管理します。また、監視及び侵入、防犯を抑止するため監視カメラを設置し、校務センターにて管理します。
- ・※監視カメラシステムは別途工事。空配管は本工事

■太陽光発電

- ・太陽光と蓄電池を整備し、災害時に校務センターと避難所となる東棟に電気(照明・コンセント)を供給できる計画とします。

